桐生市観光大使　篠原涼子

桐生

懐かしさと新しさが交差する不思議なまち

桐生市観光総合ガイドブック

目 次

桐生市マップ 2
本町エリア 3
梅田・菱・境野エリア 5
川内・相生・広沢エリア 7
新里エリア 9
黒保根エリア 11
重伝建エリア 13
桐生の織物 16
絹遺産群 17
桐生の日本遺産 19
桐生のグルメ 21
桐生のミュージアム 24
ロケ地めぐり 25
桐生の自然 27
宿泊 29
花 紅葉　歳時記 30
桐生のイベント 31
着物着付体験 33
観光おすすめコース 33
“織都桐生”案内人の会 34

古くから織物の町として発展してきた桐生市。奈良時代には絹織物を朝廷に献上しており、後に日本を代表する織物産地となったことから「織都（しょくと）」の別名で呼ばれるほど、その文化は深く根付いています。

美しい山と清冽な川に囲まれ折々に美しい表情を見せる自然、古より受け継がれてきた歴史的遺産、絶えず磨かれてきた文化など、その魅力は尽きることがありません。このガイドブックを片手に、あなただけの桐生を探しに出掛けませんか？

P9 新里エリア

観光案内所

Ⓐ 桐生観光物産館わたらせ	☎0277-40-1888	桐生市末広町11-1（桐生駅構内）
Ⓑ 四辻（よつじ）の齋嘉（さいか）	☎0277-46-6916	桐生市東久方町2-1-45
Ⓒ 桐生 さくらや	☎0277-43-5113	桐生市本町5-58
Ⓓ 青柳（あおやぎ）（みどり笠懸店）	☎0277-30-8165	みどり市笠懸町阿左美591-4
Ⓔ くらしのぎゃらりー草（そう）	☎0277-52-8182	桐生市広沢町5-1641

桐生市観光大使
篠原 涼子さん

織物の町として繁栄してきた桐生市には、山紫水明な土地に歴史と文化を感じられる建物が多く残り、今でも機音が聞こえる『ホッ』とする空間が広がっています。桐生２大グルメのソースカツ丼やひもかわ、花ぱんや子供洋食など、ご当地グルメの宝庫でもあります。

ぜひ、私のふるさと桐生へお越しください。

きりゅうファンクラブ

桐生観光協会では桐生が大好きな方が入会できる「きりゅうファンクラブ」の会員を募集しています！
様々な特典や記念品を用意しています！ 年会費1000円

今すぐお問い合わせを！
桐生観光協会0277-46-1111
（事務局：桐生市観光交流課内）まで

※本誌に掲載されている写真・イラスト・地図は全てイメージです。実際のものと異なる場合もあります。

本町エリア

桜 3月下旬～4月上旬頃　遊ぶ　見る

1 桐生が岡遊園地

桐生市宮本町4-1-1
0277-22-7580

開 3月から10月：9:30～17:00
11月から2月：9:30～16:00
休 お問合せください　料 無料（乗り物は別途料金）
交 桐生駅より徒歩15分

2 桐生が岡動物園

桐生市宮本町3-8-13
0277-22-4442

開 9:00～16:30
休 なし　料 無料
交 桐生駅より徒歩15分

入園無料の動物園と遊園地。動物園では100種類以上の動物を見ることができ、遊園地は格安でアトラクションを楽しむことができます。また、桜の名所としても有名。

3 大川美術館（おおかわびじゅつかん）

見る 買う 食べる

桐生市小曾根町3-69
0277-46-3300

開 10:00～17:00
休 月曜日（祝日の場合翌日）
料 一般 1,000円
交 桐生駅より徒歩15分

松本竣介、野田英夫の日本最大のコレクションと、二人を軸に、彼らと人間的なつながりのあった画家の作品を中心としています。

ちょっと一息 ティータイム

4 織物参考館"紫"（おりものさんこうかん ゆかり）

見学 体験 買う 日本遺産 JAPAN HERITAGE

桐生市東4-2-24
0277-45-3111

開 10:00～16:00
休 月曜日
料 一般 700円
交 桐生駅より徒歩15分

「動く、さわれる、生きている」体験型の織物博物館。古い織機や貴重な資料など1200点余りが展示されています。

5 ベーカリーカフェ レンガ

買う 食べる

桐生市東久方町1-1-55
0277-32-5553

開 平　日 8:00～18:00
　土日祝 7:00～18:00
休 なし
交 桐生駅より徒歩25分

パン工房&カフェ。焼きたてのパンが食べられます。

ちょっと一息 ティータイム

6 群馬大学工学部同窓記念会館（ぐんまだいがくこうがくぶどうそうきねんかいかん）

見学

桐生市天神町1-5-1
0277-30-1111

開 お問合せください
交 桐生駅より徒歩25分

珍しいゴシックスタイルを基調とした教会のようなモダンな講堂で、映画のロケにも利用されています。見学の際は、会館内事務所へお声かけください。

7 絹撚記念館（けんねんきねんかん）

見学 日本遺産 JAPAN HERITAGE

桐生市巴町2-1832-13
0277-44-2399

開 9:00～17:00
休 月曜日（祝日の場合翌日）、祝日の翌日
料 大人 150円　こども 50円
交 桐生駅より徒歩4分

現存するものとしては県内でも最古の洋風石造建築とされ、桐生市の郷土資料を展示しています。

8 水道山記念館（すいどうやまきねんかん）

見学

桐生市堤町1-5-7
0277-44-5257

開 9:00～17:00
休 月曜日・火曜日
料 無料
交 桐生駅より徒歩15分

昭和7年に配水場事務所として建築された、美しくモダンな建物です。

9 桐生倶楽部（きりゅうくらぶ）

見学

桐生市仲町2-9-36
0277-45-2755

開 お問合せください　交 桐生駅より徒歩10分

大正8年に完成した名士の社交場。館内では当時の家具がいまも使われています。

10 西桐生駅舎（にしきりゅうえきしゃ）

映画ロケ地

桐生市宮前町2-1-33
0277-22-3201

昭和三年の上毛電気鉄道開業時から使われており、随所にハイカラな意匠を見ることができます。

ここもチェック!!

13 有鄰館（ゆうりんかん） 見る ……14ページへ
14 桐生織物記念館（きりゅうおりものきねんかん） 見学 買う 日本遺産 JAPAN HERITAGE ……16ページへ
15 吾妻公園（あづまこうえん） 花 遊ぶ ……28ページへ

桐生祇園祭

江戸時代前期に始まった桐生祇園祭は町の発展にともなって華やかさを増し、江戸末期には関東の三大夜祭りに数えられるほどになりました。現在も桐生八木節まつりのメイン行事として受け継がれています。

11 あーとほーる鉾座（ほこざ）

桐生市本町4-328
0277-22-4620

開 お問合せください　休 水曜日
交 桐生駅より徒歩12分

江戸末期に作られた「屋台」と江戸・浅草で大評判だった生人形師、松本喜三郎の会心作「スサノオノミコト」が最上部に設置されている「四丁目鉾」が展示されている多目的ホールです。

12 翁蔵（おきなぐら）

桐生市本町3-4-11
0277-45-2031（原勢商店）

交 桐生駅より徒歩16分

文久2年に制作された翁鉾が収納展示されています。「天下泰平」「五穀豊穣」を祈願した能の「翁」（おきな）の人形が、典型的江戸型山車の最上部に設置されている、とてもおめでたい鉾です。

梅田・菱・境野エリア

紅葉の季節も最高

1 桐生川源流林（きりゅうがわげんりゅうりん）

紅葉 11月中旬　森林浴の森100選　水源の森百選　見る

険しい山々と美しい自然が保たれた川とが織り成す渓谷。森林浴の森日本100選、水源の森百選にも選ばれています。新緑に季節には、すがすがしい空気と心奪われるほど美しい清流に出会えます。11月中旬頃には、鮮やかな紅葉を求めて多くのカメラマンが集います。梅田ふるさとセンターや石鴨天満宮付近の美しさは、見る価値あり。美しい紅葉を、ぜひご堪能ください。

交 桐生駅より車で30分

ここもチェック!!

- 13 根本山 遊ぶ 眺める
- 14 鳴神山 遊ぶ 眺める
- 15 二渡のカヤ 見る

……27ページへ

2 桐生川ダムと梅田湖（きりゅうがわ　うめだこ）

見る

交 桐生駅より車で25分

市内中心部から車で30分ほどで行けるダム湖。桐生川の豊富な水をたたえ、釣りや貸ボートが楽しめます。

梅田湖観光開発（有）

遊ぶ

桐生市梅田町5-36-3
☎0277-32-1290

料 釣りボート 1日　2500円
手漕ぎボート 1時間　1000円
交 桐生駅より車で25分

桐生川ダムによってせき止められてできた湖で、ボート遊びや湖畔の散策などが楽しめます。釣り人にも人気があり、春から夏場にかけてはニジマス釣りやバス釣りで、秋頃にワカサギ釣りが解禁になるとボートからワカサギを狙う人で賑います。

梅田・菱・境野エリア

清流「桐生川」に寄り添う、自然の恵みあふれるエリア

3 梅田ふるさとセンター（うめだ） 買う 食べる

桐生市梅田町5-7568-1
0277-32-1100

開 9:00～17:00
（食事は11:00～14:30）
休 月曜日（祝日の場合翌日）
交 桐生駅より車で25分

雄大な自然の中で味わう山の幸の天ぷらや手打ちうどん、そばが評判。地元の特産品なども販売しています。

4 桐生市青少年野外活動センター（きりゅうしせいしょうねんやがいかつどうセンター） 体験

桐生市梅田町5-7423
0277-32-2644

休 月曜日（祝日の場合翌日）
交 桐生駅より車で25分

豊かな自然の中にあって野外活動や体験教室などができる公共施設です。宿泊施設も整っています。

5 両毛漁業協同組合（りょうもうぎょぎょうきょうどうくみあい） 体験

桐生市菱町5丁目1062-6
0277-32-1459

開 9:00～17:00
休 日曜・月曜・祝日
交 桐生駅より車で10分

桐生川の上流域に位置する梅田湖は“森林浴の森日本百選”及び“水源の森100選”にも指定されている「桐生川源流林」を水源とし、ワイルドなビッグトラウトから綺麗で美味しいと人気のワカサギまで、ほぼ年中通して釣りができる癒しスポットです。渡良瀬川での釣りについてもお問合せください。

6 桐生厄除薬師霊場（きりゅうやくよけやくしれいじょう） 泉龍院（せんりゅういん） 見学

桐生市菱町2-1767-1
0277-44-7479

開 お問合せください
交 桐生駅より車で15分

1417年創建の古刹。市指定天然記念物の四方竹（しほうちく）や厄よけのお寺として有名です。座禅会や写経会も月一回開催中。

桐生氏と由良氏

桐生氏関連

鎌倉時代に成立した歴史書「吾妻鏡」にみえる桐生六郎の前桐生氏。その後1350年に柄杓山城を築いたとされる桐生国綱から連なる後桐生氏。両者のつながりは不明ですが、この地を統治していた桐生氏は、新町以前の桐生が形作られる上で非常に大きな役割を果たしたと考えられています。

7 日枝神社（ひえじんじゃ）

桐生市梅田町1-481

柄杓山城の麓に桐生氏の祈願所として祀られました。国綱献上と伝えられるクスノキの巨木は県指定天然記念物に指定されています。

交 桐生駅より車で10分

8 梅原館跡（梅原薬師）（うめばらやかたあと うめばらやくし）

桐生市梅田町1-25

元は桐生六郎の館だったとされ、時代を経て後桐生氏の下屋敷として町屋づくりの基点となったと考えられています。現在も土塁と堀跡が残ります。

交 桐生駅より車で10分

9 西方寺（さいほうじ）

桐生市梅田町1-266
0277-32-1448

後桐生氏の菩提寺で、桐生氏累代の墓もここにあります。

交 桐生駅より車で10分

10 柄杓山城跡（ひしゃくやまじょうせき）

桐生市梅田町1丁目地内

桐生国綱によって1350年に築かれたとされる山城の跡。本郭跡からは当時の桐生の中心地が一望できます。

交 桐生駅より車で10分

由良氏関連

1573年に金山の由良勢との合戦によって桐生氏が滅ぼされると、桐生は新田家に連なる由良氏の統治するところとなりました。そのため、市内には新田家と縁のある寺社がいくつか残っています。由良氏の統治は1590年に徳川家康が関東に入国するまで続きます。桐生新町の町立て、発展にしたがって、桐生の中心地は新町へと移っていきます。

だるま市

参道と境内だけでなく周辺にも様々な大きさのダルマや食べ物、日用品などを売る露店が立ち並び、多くの人で賑わいます。

11 普門寺（ふもんじ）

県指定史跡

桐生市菱町4-2274　0277-43-5683

由良氏によって新田郡世良田より現在地に移されました。毎年1月第3日曜日のだるま市は風物詩となっています。

交 桐生駅より車で10分

由良成繁の菩提寺として開山され、境内は文化財や見所が豊富。由良成繁の墓所はここにあります。

12 鳳仙寺（ほうせんじ）

つつじ 5月上旬頃

桐生市梅田町1-58
0277-32-1177

交 桐生駅より車で10分

川内・相生・広沢エリア

1 桐生明治館（きりゅうめいじかん）

桐生市相生町2-414-6
0277-52-3445

国指定 重要文化財　見学　食べる　ちょっと一息 ティータイム

開 9:00～17:00
休 月曜日（祝日の場合翌日）、祝日の翌日
料 大 人（高校生以上） 150円
こども（小・中学生） 50円
団体30人以上 大 人110円
こども 35円

明治11年に県衛生所として建てられた、当時の面影を今に残す擬洋風の建物。喫茶室もあり、蓄音機から聞こえる懐かしい音色が雰囲気をもりあげてくれます。

2 桐生自然観察の森（きりゅうしぜんかんさつのもり）

桐生市川内町2-902-1
0277-65-6901

見学　体験

開 3～10月 9:00～16:30
11～12月 9:30～16:00
休 火曜日（祝日の場合翌日）
交 桐生駅より車で10分

里山の自然のなかに、展示コーナーやレクチャー室を持つ「ネイチャーセンター」や野鳥観察のための「観察舎」が整備された自然公園で、四季を通じて多くの動植物の生き生きとした姿に出会うことができます。

本町エリアへ 3P

新里エリアへ 9P

花ぱん販売店
ぐんま絹遺産 (P17～18)

ここもチェック!!

- 12 相生の松 見る ……27ページへ
- 13 MAEHARA20th 見学 ……17ページへ
- 14 南公園 遊ぶ 花 ……28ページへ

3 桐生市運動公園（きりゅうしうんどうこうえん）

桐生市相生町3-300
0277-54-5705

桜 3月下旬～4月上旬頃　遊ぶ

交 運動公園駅・桐生球場前駅より1分

桜の名所でも知られる同公園は、テニスコート、体育館、野球場、プール、弓道場などがあり、市民がスポーツを楽しむ場となっています。

4 彦部家住宅（ひこべけじゅうたく）

紅葉 11月頃　見学

桐生市広沢町6-877
☎0277-52-6596

開 10:00～16:00（平日は要予約）
休 平日
料 大人500円（20名以上の団体1割引）
小中学生300円
交 北関道 太田桐生ICより車で15分

400年以上前の中世の武家屋敷をほぼ完全な形で現在に伝えています。現在もその末裔が住み続けている、関東では最古に属する民家です。

紅葉狩りウィーク
毎年秋の期間中、彦部家住宅を舞台に歴史や文化に関する多彩な催し物が行われるイベントです。

5 つりぼり 清滝（きよたき）

食べる　遊ぶ

桐生市川内町5-4210
☎0277-65-8452

開 8:00～15:00
休 木曜日、第3水曜日
交 桐生駅より車で15分

魚種はニジマスやイワナなど。併設の食堂は釣った魚だけでなく、群馬県が10年以上の歳月をかけて開発した最高級ニジマス「ギンヒカリ」の他、多彩な魚料理が食べられます。

6 湯（ゆ）らら

食べる　体験

桐生市広沢町6丁目320-1
☎0277-55-2601

開 10:00～23:00まで（最終入館午後10:00）
休 第3火曜日（祝日の場合は営業）
料 一般 650円（土・日・祝 750円）
交 北関道 太田桐生ICより車で10分
P 無料駐車場250台完備

源泉は、地下1,560mから湧出する弱アルカリ性。お肌にやさしく、心地よい温もりが長く身体を包みます。室温が60℃程度の低温サウナは、身体の負担も少なく、じっくり汗をかけます。桐生観光の際に立ち寄るのにぴったりの、日帰り温泉施設。

桐生市のパワースポットめぐり

7 白瀧神社（しらたきじんじゃ）

日本遺産 JAPAN HERITAGE

桐生市川内町5-3288
☎0277-46-1111

しらたきじんじゃだいかぐら
白瀧神社太々神楽
川内地区内に住む長男が継承してきた神楽ですが、今日では保存会が組織され、毎年8月6・7日の例祭に奉納されます。

交 桐生駅より車で15分

大昔に官女白瀧姫が村人に織物を教えたとして祀られています。桐生織物発祥の地として知られる神社です。

8 賀茂神社（かもじんじゃ）

桐生市広沢町6-833
☎0277-54-5492

みかがりしんじ
御篝神事
雄壮な太鼓が響くなか、東西に分かれた氏子達が御篝（みかがり）を投げ合う奇祭。多くの見物客とカメラマンで賑わいます。

交 桐生駅より車で15分

延喜式内上野十二社のひとつで、桐生最古の神社です。老樹の茂る境内には、木造の本殿のほか拝殿・神楽殿などがあります。毎年節分の日に境内で奇祭「御篝神事」が行われます。

9 宝徳寺（ほうとくじ）

桐生市川内町5-1608
☎0277-65-9165

交 桐生駅より車で15分

柄杓山城の裏手要害として創建された禅寺で、もみじ祭りやぼたん祭りなど季節のイベントの他、坐禅会も行っています。

精進料理
石庭を眺めながら精進料理をいただく事もできます。（要予約）

10 崇禅寺（そうぜんじ）

桐生市川内町2-651
☎0277-65-9422

交 桐生駅より車で15分

広大な寺域は緑地環境保全地域に指定され、散策道が整備されています。書院茶室「无量庵（むりょうあん）」では懐石料理も。

七草粥会
毎年一月七日の早朝、七草粥会が行われ一年の無病息災を願う人々が集います。

11 大雄院（だいゆういん）

県有文

桐生市広沢町3-3580
☎0277-52-7781

交 桐生駅より車で15分

茶臼山麓から三重塔が市街地を見渡す大雄院。400年以上の歴史をもつ同寺が所有する刺繍涅槃図は、県重要文化財となっています。

幸運祭
一年の厄除けを馬頭観音に願う幸運祭。露店も並ぶ境内は大変賑わいます。

新里エリア

龍真寺ぼたん園

1 ぐんま昆虫の森（こんちゅうのもり） 見学 体験

桐生市新里町鶴ヶ谷460-1
0277-74-6441

開 4月から10月　9:30～17:00
（入園時間は16:30まで）
11月から3月　9:30～16:30
（入園時間は16:00まで）

休 毎週月曜日（ただし、月曜が祝日のときは翌火曜日）
※年末年始、メンテナンス休園があります。
※夏季特別開園があります。

料 一般 410円　大学生・高校生 200円　中学生以下 無
（団体料金あり）

交 北関道伊勢崎ICより車で20分

園内には雑木林や棚田、桑園など日本の原風景が広がり、自然観察や里山体験ができます。地上3階建の昆虫観察館には広い生態温室もあり、一年中亜熱帯のチョウを観察できます。

ここもチェック!!

- 9 おかめ桜・お角桜 見る 花 28ページへ
- 10 サクラソウふれあい公園 見る 花 28ページへ
- 11 赤城寺のシャクナゲ 見る 花 28ページへ
- 12 龍真寺ぼたん園 見る 花 28ページへ

2 カリビアンビーチ

桐生市新里町野461
☎0277-70-2121

遊ぶ

開 10:00～21:00(入館20:00まで)
休 毎週木曜日(季節変更あり)、2月1日から1ヶ月
料 季節で異なる
交 北関道伊勢崎ICより車で15分

関東最大級の全天候型室内プールで、ダイナミックなカリブの海をイメージした常夏の楽園です。波のプールや流れるプールのほかウォータースライダーやロデオマウンテン等のアトラクションも大人気で、大波でボディボードも楽しめます。

新里の遺跡群

この地域を語る上で外せないのが、貴重な歴史的遺物の数々。東国文化をしのばせる中塚古墳や、山上の多重塔、関の磨崖仏などの仏教遺跡。点在するスポットを巡れば、古代から近世に至る歴史散歩が楽しめます。

3 山上城跡公園（やまかみじょうせきこうえん）

県指定史跡　遊ぶ

桐生市新里町山上297-1
☎0277-74-2217

ロウバイ 2月頃

にいさと薪能
城跡に特設舞台を造り、能を上演します。かがり火揺らめく幽玄の世界は他ではなかなか味わえません。

☎0277-74-4151
交 新里駅から20分

安土桃山時代

県指定史跡の山上城跡を整備した公園で芝生広場やローラー滑り台などの遊具が人気です。ロウバイ、アジサイなど花の名所でもあります。

4 相澤忠洋記念館（あいざわただひろきねんかん）

見学　県指定史跡

桐生市新里町奥沢537
☎0277-74-3342

旧石器時代

開 10:00～17:00
休 月曜日
交 北関道伊勢崎ICより車で20分

故相澤氏は日本に旧石器時代が存在することを立証した岩宿遺跡の発見者です。館内には歴史を塗り変えた槍先形尖頭器等多数の資料が展示されています。

5 関の磨崖仏（せきまがいぶつ）

県指定有形文化財

桐生市新里町関67-1

鎌倉時代

交 北関道伊勢崎ICより車で20分

鏑木川のほとりにある、赤城山から運ばれた凝灰岩に三尊像が半肉彫りで刻まれ、朱塗りの跡も確認できます。鎌倉時代のものと思われます。

6 山上の多重塔（やまかみたじゅうとう）

国指定重要文化財

桐生市新里町山上2555

平安時代

交 新里駅から20分

平安初期の801年に建てられた供養塔。塔には安楽と平和を願う45の文字が刻まれ、当時の仏教文化を知る上で貴重な遺産となっています。

7 武井廃寺塔跡（たけいはいじとうあと）

国指定史跡

桐生市新里町武井598

奈良時代

交 新里駅から10分

昭和16年に古代寺院の塔の心礎と推定され、国指定史跡となりましたが、その後の調査で奈良時代の火葬墳墓という見解もあります。

8 中塚古墳（なかづかこふん）

県指定史跡

桐生市新里町新川2592

古墳時代

交 新里駅から10分

丘陵地に造られた直径38mの円形古墳で、重厚かつ精巧な造りの石室は見事です。7世紀後半にこの一帯に勢力のあった新川氏の墳墓と推定されています。

黒保根エリア

古路瀬渓谷 秋の紅葉

1 わたらせ渓谷鐵道と古路瀬渓谷

桐生市
0277-73-2110（わたらせ渓谷鐵道）
眺める

交 桐生駅、下新田駅、相老駅、運動公園駅、本宿駅、水沼駅で乗降できます。

桐生駅と間藤駅（日光市足尾町）を結ぶわたらせ渓谷鐵道。開放的なトロッコ列車も走るこの路線は、ゆったりと走る車窓から望む風景が四季折々に姿を変え、旅行く人たちの目を楽しませてくれます。特に、本宿駅から水沼駅の間の「古路瀬渓谷」と呼ばれる一帯は、沿線でも有数の紅葉スポットとして知られています。

2 梨木温泉（梨木館）

桐生市黒保根町宿廻285
0277-96-2521
泊まる 温泉

交 北関道伊勢崎ICより車で40分

征夷大将軍坂上田村麻呂により1200年前に発見されたといわれる、市内唯一の温泉旅館です。泉質は褐色の含食塩炭酸泉です。

黒保根やまびこアイス

黒保根町宿廻（梨木温泉：梨木館前）
梨木の氷柱

3 道の駅くろほねやまびこ

桐生市黒保根町下田沢91-4
0277-96-2575
買う 食べる

開 直売所　9:00～17:00
食事処 10:00～15:00（土・日・祝 15:30）
休 年末年始
交 北関道伊勢崎ICより車で40分

朝とれたばかりの地元の野菜がズラリ。風味豊かなそばや、コシのあるうどんは、すべて手打ち。黒保根やまびこアイスも買えます。

ここもチェック!!

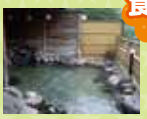
16 柏山のしだれ桜 見る 花 ……27ページへ
17 栗生神社の大杉 見る 県指定天然記念物 ……27ページへ
18 奥山ヤシオツツジ群生地 見る ……27ページへ
19 黒保根歴史民俗資料館 見学 ……29ページへ

4 水沼駅温泉センター（みずぬまえきおんせん）

温泉　食べる

桐生市黒保根町水沼120-1
0277-96-2500

開 11:00～20:00
休 年中無休
料 大 人 600円（税込）
こども 400円（税込）



猿川温泉を引湯し、水沼駅に直結した温泉センターです。渡良瀬川の渓谷美を堪能しながら、ゆとりの入浴タイムを露天風呂で楽しんでみませんか。効果はリュウマチや婦人病など広い適応があり、連日にぎわいをみせています。

5 医光寺本堂の彫刻欄間（いこうじほんどう　ちょうこくらんま）

市指定重要文化財　見学

桐生市黒保根町上田沢326（医光寺）
0277-96-2300

開 お問合せください
交 水沼駅より車で10分

肉厚の透かし彫りが圧巻の欄間は、その圧倒的な技量から伝説的な彫刻師になぞらえて「上州の左甚五郎」と称された名工、関口文治郎の手になるものと伝えられています。見学の際は電話で確認を。

6 黒保根渓流フィッシング（くろほねけいりゅう）

遊ぶ

桐生市黒保根町下田沢1874-1
0277-96-2099

開 4～9月 6:00～18:00
10～3月 7:00～16:00
休 無休
交 北関道伊勢崎ICより車で50分

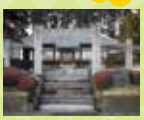
小黒川の清流から引水し、ルアー、フライ、えさつり等が楽しめます。各種つり大会が開催される、本格的な釣りスポットです。

7 正円寺・深沢城跡（しょうえんじ　ふかさわじょうあと）

眺める

桐生市黒保根町宿廻564
0277-96-3177

交 本宿駅より車で5分



渡良瀬川上流域は古くから「黒川衆」と呼ばれる武士が支配しており、黒川衆の有力氏族である阿久沢家が本拠としていたのが深沢城でした。周辺の黒川郷は渡良瀬川流域の要衝であるため、上杉、武田、真田、北条といった大名の間で争奪戦が繰り広げられ、最終的には廃城となります。二郭跡地には正円寺が移され、帰農した阿久沢家の墓もここにあります。

8 星定観光農園（ほしさだかんこうのうえん）

体験

桐生市黒保根町下田沢624
0277-96-3708

開 8:00～17:00
休 不定日（要予約）
交 水沼駅より車で10分

ぶどう狩り、芋掘り、栗拾いなど都会では経験できない農作業が体験できます。自家製の乾燥芋は自然食品として人気です。また、手打ちそばは昔ながらの製法でコシがあり風味豊かな味わいは絶品です。

9 田舎体験のうえん めぐり屋（いなかたいけん　や）

体験

桐生市黒保根町宿廻651-3
0277-96-2077

開 10:00～14:00
休 不定日（要予約）
交 本宿駅より車で10分

田植えや稲刈り、野菜の収穫など、農作業の体験ができるほか、自分で採った野菜を使った料理教室も行っています。

黒保根三奇石

眺める

田沢川をはさんで向き合う亀の形をした「亀石」、触れるとイボが治るという「イボ石」、同じく溜まった水で洗い続けるとイボが取れるという「エボ石」。この三つを黒保根三奇石と呼びます。中でもイボ石は太古の微生物の化石であった事が近年判明しました。

10 亀石（かめいし）

桐生市
黒保根町上田沢

交 水沼駅から車で15分

11 イボ石（いし）

桐生市
黒保根町上田沢

交 水沼駅から車で17分

12 エボ石（いし）

桐生市
黒保根町下田沢

交 水沼駅から車で15分

黒保根と赤城山

遊ぶ　眺める

「くろほ」は赤城山の古い呼び名。その名の通り黒保根と赤城山の関係は非常に深く、かつては赤城山観光の玄関口でした。キャンプ場を足がかりに、赤城山を存分に楽しんでみては。

13 利平茶屋森林公園（りへいぢゃやしんりんこうえん）

桐生市黒保根町下田沢字赤面国有林内

開園期間（5月1日～10月下旬）
0277-96-2588
閉園期間…… 0277-96-2113

料 お問合せください

標高1,000mの赤城山登山口にある利平茶屋森林公園。木立に囲まれた園内では鳥居川の清流でイワナ釣りが楽しめ、バーベキュー用の東屋でのバーベキューは自然満喫、お腹満腹です。

14 花見ヶ原森林公園（はなみがはらしんりんこうえん）

桐生市黒保根町下田沢赤面国有林内

開園期間（5月1日～9月下旬）
0277-96-3131
閉園期間…… 0277-96-2113

料 お問合せください

赤城山の東腹、標高1,200mにある花見ケ原キャンプ場はバンガロー、テントサイトのある大自然のなかのキャンプ場です。

15 荒神山展望台（こうじんやまてんぼうだい）

桐生市黒保根町
0277-96-2113

ぐんま百名山のひとつである荒神山。頂上に整備された展望台からは荘厳なパノラマが広がります。黒保根町を一望できるほか四季により変化する赤城山の色彩を楽しむことができます。

歴史と文化の香りスポット

重伝建エリア

＼映画やテレビのロケ地もたくさん／

平成27年4月に文化庁により日本遺産に認定されました。
日本遺産について詳しくはP19、P20へ

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区

当地区は、天正19年（1591年）に徳川家康の命を受け、代官大久保長安の手代大野八右衛門により新たに町立てされた在郷町として発展。保存地区は、絹織物業を中心に発展した町、桐生を示す象徴的な地区でもあります。

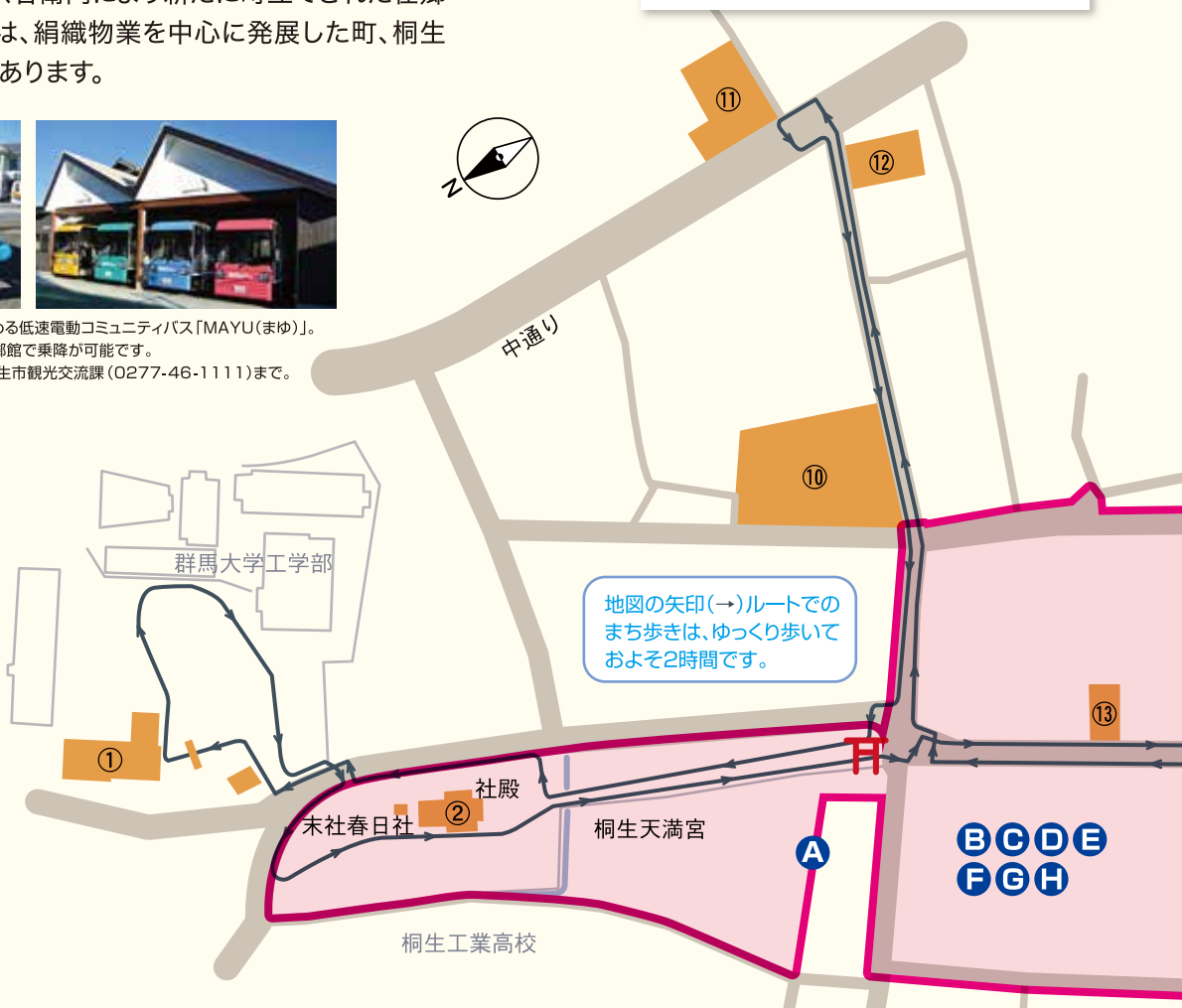
MAYU 全国的に注目を集める低速電動コミュニティバス「MAYU（まゆ）」。
重伝建地区では有鄰館で乗降が可能です。
お問い合わせは 桐生市観光交流課（0277-46-1111）まで。

「根本山道標」

江戸時代、梅田町の根本山にある根本神社はその信仰により多くの参詣人を集めました。安政6年に出された「根本参詣ひとり案内」なるガイドブックには本町二丁目「休所・宮川」が掲載されその当時の様子がうかがえます。その根本山への道程を記した道標（里程標）がこの地域に残されており、道標には「これより／道のり／五里／九丁」と刻まれています。

「渡辺崋山と桐生」

江戸時代後期の武士であり、思想家、画家としても傑出した才能を示した渡辺崋山は、妹である茂登が桐生に嫁いだ縁で何度か桐生を訪れました。なかでも天保2年の滞在時の記録である「毛武游記」には、当時の桐生の状況だけでなく庶民のくらしが生き生きと描かれており、崋山の文才が遺憾なく発揮されています。



①群馬大学工学部同窓記念会館・正門・守衛所【国登録有形文化財】

大正5年に建てられた、桐生高等染織学校の講堂および正面玄関の一部で、昭和47年に敷地中央より現在地に移築、同窓記念会館として活用されています。建物は、木造二階建瓦葺、ハンマービームと呼ばれる独特の屋根構造を持ち、内外装から金具・調度品に至るまで建築当初の姿を残しており、教会堂のように厳粛でありながらも華やいだ空間を創り出しています。

②天満宮社殿【県指定重要文化財】天満宮末社春日社【市指定重要文化財】

天正19年（1591）桐生新町創設にあたり、現在地に遷座されたと伝えられています。社殿は、江戸時代の神社建築に多い権現造で、本殿と幣殿の外壁には極彩色の装飾が施されており、内部にも彫刻や壁画を持つ北関東特有の近世社寺建築の特徴を良く伝えています。また、社殿背後にある、一間社流造、銅板葺の小規模な末社春日社は、天正から慶長年間推定（1573～1615）とされ、市内最古の建築として市指定の重要文化財になっています。

毎月第一土曜日には北関東一を誇る「天満宮骨董市」が日の出より日没まで開催されています。

見学の注意点

ここに掲載された建物等については、敷地外からの見学が基本となります。プライバシーの保護、施設の管理上からも詳細な見学は別途所有者等の承諾を得てください。

③森合資会社事務所【国登録有形文化財】

大正3年金融業の建物として建てられました。屋根は銅板葺で、外壁に白磁タイルを使用した洋風の事務所です。

④第壹物産賣買所（買場・上市場）

現在も市場として使用された建物が残っており、「買場ふれあい館」として活用されています。

天満宮骨董市と同じ毎月第一土曜日に「買場紗綾市」が行われています。

重伝建エリア

歴史と文化の香るエリア

⑩ベーカリーカフェレンガ
旧金谷レース工業(株)工場・事務所【国登録有形文化財】

大正8年に建築された桐生に現存する唯一のレンガ造のノコギリ屋根工場です。レンガ壁はイギリス積みです。事務所棟は、昭和6年に建築され、木造二階建てスクラッチタイル張りで、窓や細部に至る意匠に昭和初期の洋風建築の特徴が見られます。二つを比較してみると、大正・昭和、各時代の流行の違いがよく分かります。

⑪旧斎憲テキスタイル工場

昭和2年に建築された、大谷石造のノコギリ屋根工場です。

⑫旧住善織物工場

大正11年に建築された、桐生に現存する唯一の鉄筋コンクリート造のノコギリ屋根工場です。現在は、5人の作家(岡・金原・田中・平田・丸山)の一文字ずつを組み合わせ命名した、「工房・金田丸岡平」として利用されています。

⑬一の湯

一の湯は、当初隣接する織物工場で働く従業員のために浴場として建築され、近隣住民にも利用されていました。現在も市内に数少ない銭湯として営業しており、内部の風情豊かな空間は地域に愛されています。

⑭平田邸【国登録有形文化財】

大正3年(袖蔵は明治33年)に建築された建物で、この地域では平田邸と玉上薬局の2件だけのめずらしい蔵造りの店です。しっくい仕上げの壁と重厚な扉が美しさをいっそう引き立てています。

⑮玉上薬局(国仁誠堂)

文化3年(1804)に建てられたと伝えられており、妻入りのえびす造りの店は、現存する幕末の町屋として貴重な建物で、建物とともに江戸時代から続く薬種商です。

⑯有鄰館(旧矢野蔵群)
【市指定重要文化財】
⑰矢野本店店舗及び店蔵
【市指定重要文化財】

二代目矢野久左衛門が寛延2年(1749)現在地に店舗を構えて以来、桐生の商業に大きく寄与してきた土蔵等建物群です。現存する土蔵やレンガ蔵は、酒類・味噌・醤油などの醸造を行ってきたところで、江戸から大正期に建築されました。

⑱桐生からくり人形芝居館

明治から昭和時代、桐生天満宮御開帳で上演されました。日本芸能史を物語る貴重な文化遺産です。

⑤旧北川織物工場(無鄰館)
【国登録有形文化財】

敷地内の建物群は大正時代を中心に建築されたもので、ノコギリ屋根工場をはじめ、主屋、土蔵等が奥行き40間の地割の中に良好に残されています。北東側には、焼失した寄宿舎の防火壁とされていたレンガ耐火塀が今も残っています。現在はアーチストファクトリーとして活用されています。

⑥旧北川織物工場

このノコギリ屋根工場は無鄰館とともに旧北川織物工場でした。このノコギリ屋根工場の特徴は、採光面を南東に向けて建てられていることです。ノコギリ屋根工場は均一な自然光を取り入れるために北側に向けて建てることにその価値と特徴があるわけですが、この建物はその価値を逸脱している点で、市内でも珍しいノコギリ屋根工場です。

⑦旧曽我織物新工場【国登録有形文化財】

大正11年に建築された、大谷石造のノコギリ屋根工場です。北西方向に採光面を設け、通風用の丸窓飾りが特徴です。

⑧旧書上酒店(大風呂敷)

明治後期に建てられた旧書上酒店を1997年に同店に残っていた写真を元に再生した建物で、カフェとして活用されています。

⑨旧書上商店(花のにしはら)

明治期の桐生を代表する買継商「書上文左衛門」の商店店舗です。書上商店は、明治25年に横浜に支店をつくり、織物輸出業を開始、明治39年には上海へも出店しています。この建物の北西周辺にある蔵群は、かつては同商店のものであり、この一画で昭和27年から30年まで作家坂口安吾が生活をし、この地でその生涯を終えました。

重伝建エリア

歴史と文化の香るエリア

Ⓐ 前原　良太郎【1869年(明治2年)～1932年(昭和7年)明治・大正期の町長、市長】
警視庁勤務を経て、1909年(明治42年)桐生町長、1921年(大正10年)初代桐生市長に就任、市政の発展に尽力した。桐生の近代の夜明けを築いた。他に桐生町議会議員、山田郡会議員、群馬県議会議員に当選した。

Ⓑ 森　宗五郎【1845年(弘化2年)～1924年(大正13年)県議会議員、実業家】
1884年(明治17年)県議会議員当選、また桐生第一物産売買所を創設し、買場の繁栄を祈り稲荷を遷座した。

Ⓒ 森　宗作(二代)【1863年(文久3年)～1932年(昭和7年)明治・大正期の実業家】
1883年(明治16年)森宗五郎の養嗣子となってその家督を継ぎ、1883年(明治22年)桐生町議会議員に当選、織物学校・高等女学校・高等染織学校・中学校の設立、岡公園の建設に尽力、1900年(明治33年)第四十銀行頭取に就任、桐生撚糸合資会社・合資会社桐生製作所・両毛整織(株)・渡良瀬水力発電(株)・足尾鉄道(株)・桐生倶楽部の設立に参画した。

森　宗作(二代)

Ⓓ 森　宗作(三代)【1884年(明治17年)～1955年(昭和30年)大正・昭和期の実業家】
二代宗作の遺業を受けて、群馬県農工銀行・群馬大同銀行・群馬県金融会社の役員、1933年(昭和8年)桐生消防組組頭、1939年(昭和14年)桐生警防団団長に就任したほか帝国飛行協会・桐生市農協・桐生市商工会議所の役員を務めた。

Ⓔ 森　平三郎【1891年(明治24年)～1980年(昭和55年)教育者】
1926年(大正15年)桐生高等工業学校教授、1943年(昭和18年)米沢高等工業学校校長、1945年(昭和20年)工学博士、1953年(昭和28年)山形大学初代学長に就任する。

Ⓕ 羽仁　五郎【1901年(明治34年)～1983年(昭和58年)昭和期の歴史家】
1926年(昭和元年)羽仁吉一の養嗣子となってその家督を継ぎ、1927年(昭和2年)日本大学・自由学園の教授となり、マルクス主義者として活躍した。1947年(昭和22年)参議院議員に当選、国立国会図書館の設立に尽力、1972年(昭和47年)桐生市へ蔵書1万3千冊を寄贈し、羽仁文庫となる。1966年(昭和41年)自伝「私の大学」で「自由都市・桐生」を広く紹介した。

羽仁　五郎

Ⓖ 森　正雄【1906年(明治39年)～1980年(昭和55年)社会実業家】
1933年(昭和8年)有志らと共に医療組合運動を興し、1市10町村にわたって組合員を組織し、翌年2月諏訪町の森氏の所有地を提供し、桐生医療組合病院を開設、組合長に就任した。戦後、市町村に移管したが、1951年(昭和26年)～1980年(昭和55年)まで桐生厚生総合病院医療事務組合議会の学識経験者議員・議長としてその任を全うした。1947年(昭和22年)社会党の市議会議員として一期務めた。ほか地域社会の広い分野での公益活動に尽力した。

Ⓗ 森　喜作【1908年(明治41年)～1977年(昭和52年)起業家、農学博士】
1943年(昭和18年)㈱森農場(後の森産業㈱)を設立し「菌種駒の製造法」の特許を取得する。キノコにささげた生涯をおくる。桐生市名誉市民の称号が贈られる。

Ⓘ コロムビア・ローズ(初代)【1933年(昭和8年)～　昭和期の歌手】
1951年(昭和26年)日本コロムビアの全国歌謡コンクールの県大会で1位となり県代表となる。全国決選大会でも優勝し歌手デビューした。ヒット曲は「どうせひろった恋だもの」「東京のバスガール」など数多い。幼くして桐生市本町一丁目の斎藤家(現関根ギター)の養女に入り、歌手デビューまでを過ごした。北小学校が母校。

コロムビア・ローズ

Ⓙ 相澤　忠洋【1926年(大正15年)～1989年(平成元年)昭和期の考古学者】
戦後桐生市本町一丁目に住み行商のかたわら1946年(昭和21年)から群馬県内縄文早期の遺跡の調査を行い、翌々年笠懸村(現みどり市)岩宿で関東ローム層中から石器を発見した。1949年(昭和24年)に明治大学教授杉原荘介らがここを発掘し、日本に縄文土器以前の石器文化が存在したことを実証した。これ以降、各地で縄文文化以前の石器文化の存在が明らかにされた。旧石器発見の功により吉川英治賞を受賞した。

相澤　忠洋

Ⓚ 長澤仁右衛門(紀卿)(長澤家三代)【1750年(寛延3年)～1800年(寛政12年)】
(江戸中期の漢学者、絹買商人)
事業のかたわら儒学者山本北山に師事して漢学を修業、書を東江源鱗に学ぶ。1788年(天明8年)家督を継ぎ、1789年(寛政元年)出羽国松山藩酒井家御用達を務めた。1791年(寛政3年)下久方村の天満宮境内に私設図書館である潺湲舎を建てる。

Ⓛ 星野　貞暉【1768年(明和5年)～1835年(天保6年)江戸後期の歌人】
国学者橘千蔭、高田与清、清水浜臣に師事して和歌・国文を学び、秀歌を残した。後に近郷の子弟を教えた。吉田清助に影響を与え、桐生国学の祖となった。桐生新町役人を務め、出羽国松山藩酒井家陣屋の普請に寄与する。また、書上文左衛門と些細なことで争論し、役職を辞任した。

Ⓜ 坂口　安吾【1906年(明治39年)～1955年(昭和30年)昭和期の小説家】
1931年(昭和6年)雑誌「青い鳥」を発刊、「風博士」「黒谷村」を発表。文壇に認められ、1946年(昭和21年)「堕落論」「白痴」などを書いて流行作家となった。友人の南川潤の勧めで1952年(昭和27年)桐生市本町二丁目の書上家に来住、「夜長姫と耳男」「桐生通信」「信長」「馬庭念流訪問記」などを書き、この地で亡くなった。

坂口　安吾

Ⓝ 書上三郎左衛門勝郷(書上家三代)【生年不詳～1719年(享保4年)絹買継商人】
1684年(貞享元年)京都の絹問屋に桐生絹を出荷する。また、江戸とも絹取引を始める。1697年(元禄10年)から1719年(享保4年)までの22年間桐生新町の名主を務める。

Ⓞ 書上文左衛門祐介(書上家十一代)【1864年(元治元年)～1914年(大正3年)買継商人】
岡千仞に漢籍、中江兆民にフランス語を学ぶ。1890年(明治23年)書上文左衛門の養嗣子となってその家督を継いだ。伊勢崎・足利・佐野に支店を設置、1892年(明治25年)横浜へ支店をつくり輸出織物直輸業を開始し、1906年(明治39年)に上海に出店した。1898年(明治31年)桐生物産同業組合組長となった。1911年(明治44年)「書上タイムス」を創刊する。また、高等女学校、織物学校、桐生高等染色学校の誘致に尽力した。

書上文左衛門祐介
(書上家十一代)

Ⓟ 書上文左衛門史郎(書上家十二代)
【1891年(明治24年)～1972年(昭和47年)大正・昭和期の織物買継商人】
1914年(大正3年)遺業を受け織物買継商を経営、大戦中の企業整備などの苦境の中で成果をあげ業界に知られた。1921年(大正10年)桐生市議会議員、1931年(昭和6年)群馬県議会議員に当選し地方自治に貢献、書上家伝来の古文書類3千余点を寄贈した。戦後、文芸作家坂口安吾のスポンサーとして面倒をみる。

Ⓠ 野間　清治【1879年(明治12年)～1913年(昭和13年)大正・昭和初期の実業家】
1900年(明治33年)山田第一高等小学校訓導、1902年(明治35年)退任、1904年(明治37年)沖縄中学校教諭となった。1909年(明治42年)大日本雄弁会を起こし、雑誌「雄弁」を創刊、1911年(明治44年)講談社を設立し、「日本の雑誌王」と呼ばれた。北小学校において若き日に教鞭を執った。

野間　清治

Ⓡ 古木　四郎兵衛【生歿年不詳　桐生新町組頭】
1859年(安政6年)、如来道村の津久井儀右衛門と駕籠訴。四郎兵衛は大老井伊掃部頭直弼へ、儀右衛門は老中間部下総守詮勝に単身生糸輸出禁止を訴えるがお咎めなしの裁決となった。

Ⓢ 戸田　邦仁【1890年(明治23年)～1946年(昭和21年)日本初の女性医化学者】
女子医専(現東京女子医大)在学中、開業医資格国家試験に合格したが、同校にとどまり、医化学の分野を専攻する研究者を志し、同校出身者として初めての助教授となる。1929年(昭和4年)ウィーンに留学、帰国後の1932年(昭和7年)同校の教授に就任した。

Ⓣ 矢野　久左衛門(矢野家初代)
【生年不詳～1736年(元文元年)近江商人】
屋号「近江屋」の名で1717年(享保2年)桐生新町二丁目で雑貨、金融業を始める。質素倹約で、家業に精を出して働き「日野の千両店」と呼ばれる。

矢野久左衛門肖像

Ⓤ 岩本　茂兵衛(岩本家三代)【生年不詳～1855年(安政2年)】
3回の渡辺崋山の来桐の世話をする。桐生新町二丁目で絹買商を営む。絹買商人として江戸の田原藩下屋敷に出入りした。渡辺崋山の財政支援者の一人。妻茂登は崋山の妹であった。

Ⓥ 前原　一治【1900年(明治33年)～1968年(昭和43年)昭和期の実業家、市長】
1932年(昭和7年)日本絹撚株式会社へ入社してその経営にあたった。1942年(昭和17年)桐生市議会議員、1947年(昭和22年)桐生市長に当選、新制中学校の建設、風水害による被害、産業文化会館の建設などの難事業を処理して、1963年(昭和38年)辞任した。後に群馬県監査委員を務める。桐生市名誉市民(第一号)の称号が贈られる。

Ⓦ 田村　梶子【1785年(天明5年)～1862年(文久2年)江戸後期の教育家】
享和年中、幕府の祐筆となり、文化年中に帰郷、林兵衛直恒を夫として迎え織物を業とする。そのかたわら1829年(文政12年)下久方村で私塾「松声堂」を開き、習字・和歌・作法を教えた。門下生に島隆、前原照子、望月福子らがいる。

Ⓧ 新居　日薩【1830年(天保元年)～1888年(明治21年)幕末・明治前期の日蓮宗の僧侶】
1848年(嘉永元年)加賀国金沢の立像寺日輝上人の充洽園で学び、東京駒込の蓮久寺へ入り子弟に講義した。1874年(明治7年)身延山久遠寺の住職となり、一致派管長に推され、日蓮宗の宗名を定めた。孤児養育の福田会育児院の設立に尽力した。1880年(明治13年)山田郡下久方村へ寂光院を移転させた。

織物の体験・体感スポット

桐生の織物

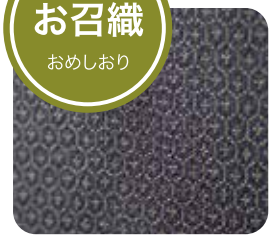
伝統的工芸品

桐生を語る上で絶対に外せない「織物」ですが、その歴史はおよそ1300年前にさかのぼります。当時の税制で上毛野国（おおよそ現在の群馬県）が納めるべき物品として絹織物が挙げられているように、すでに絹織物の産地となっていました。時は下って1600年、徳川家康の関が原出陣に際しては1日で2,410疋（着物4,800着分以上）もの旗絹を献上し、戦勝によって吉例の地として有名になりました。その後、江戸時代中期には西陣から、明治時代には海外から、最新の技術を次々と取り入れて発展を続けたのです。現在でも「桐生で揃わない織物はない」と言われるほど、織物関連業の集積地として、情報の発信地として不動の地位を占めています。

桐生織7つの技法

昭和52年、以下の七つの技法を持つ桐生織は通商産業大臣（当時）より「伝統的工芸品」に指定されました。

1 お召織（おめしおり）



桐生発祥の最高級の織物。徳川家斉が好んだことから「お召し」の名がつきました。独特の細かい凹凸が特徴です。

2 緯錦織（よこにしきおり 又はぬきにしきおり）

単色の経糸に、八色以上の緯糸で文様を描き出します。

3 経錦織（たてにしきおり）

三色以上の経糸と二色以上の緯糸で文様を表す織物です。

4 風通織（ふうつうおり）

二重の生地を裏表に現わすことで柄を表現する、複雑な織物です。

5 浮経織（うきたており）

二色以上の経糸を密に使い、刺繍のような滑らかな紋を織り出す方法です。

6 経絣紋織（たてかすりもんおり）

経糸でかすり模様を表現し、さらに複数の緯糸で文様を織り出す、非常に手間のかかる織り方です。

7 綟り織（もじりおり）

経糸が絡みながら緯糸と組み合うことで、織り目に隙間ができる一風変わった織物です。

見学 買う 日本遺産 JAPAN HERITAGE

桐生織物記念館

本町エリア

桐生市永楽町6-6

0277-43-7272

開 10:00～17:00
休 毎月最終土・日、8/13～16、12/29～1/3
交 JR桐生駅より徒歩5分

桐生織物協同組合の事務所として建築され、織物や織機の展示のほか、産地価格で織物製品が販売されています。

繭と絹スポット

絹遺産群
（ぐんま絹遺産）

古くから養蚕・製糸・織物業が盛んだった群馬県は、明治時代に入るといち早く近代的手法を取り入れて世界的な絹織物の産地となります。地域振興や観光に役立てるため、それら県内に残る養蚕・製糸・織物関連の建物や文化などを対象に登録がすすんでいます。桐生では県内最多となる18件が登録されています。（平成26年3月31日現在）

赤城型民家 A

桐生市新里町鶴ヶ谷460-1 ぐんま昆虫の森構内
0277-74-6441（ぐんま昆虫の森）

赤城山南麓に多く見られる茅葺き屋根の前面中央を切り上げた建築様式で、屋根裏を養蚕に利用するために光と風を取り入れやすい構造になっています。

新里エリア

MAEHARA20th B

桐生市広沢町6-850-5
0277-46-1111

開 お問い合せください
料 500円
交 北関道 太田・桐生I.C.より車で15分

MAEHARA20thは、旧合名会社飯塚織物工場跡を活用したクラシックカーの博物館です。飯塚織物工場は機械設備が充実した個人経営工場の先駆けで、輸出向けの高級織物を生産していました。

川相広エリア

日本織物株式会社発電所跡及び煉瓦積遺構 C

桐生市織姫町6-1
0277-46-1111

本町エリア

交 桐生駅より徒歩15分

日本織物株式会社が明治22年に運転を始めた水力発電施設跡で、現在残っているものは大正期のもの。工場や寄宿舎だけでなく、桐生市（当時は町）内の電灯にも利用されました。

旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟（絹撚記念館） D

（けんねんきねんかん）

桐生市巴町2-1832-13
0277-44-2399

本町エリア

開 9:00～17:00　料 大人 150円　こども 50円
交 桐生駅より徒歩4分

大正6年に建築された撚糸工場事務所棟で、県内最古の洋風石造建造物です。かつては敷地内にノコギリ屋根工場が並び建ち、糸の「撚り掛」を機械化した、全国6カ所の「模範工場」の一つでした。現在は桐生市の郷土資料を展示しています。

旧堀祐織物工場 E

（きゅうほりゆうおりものこうじょう）

桐生市巴町1-1126
0277-46-1111

本町エリア

交 桐生駅より徒歩5分

堀祐織物工場は、緯糸に人造絹糸、経糸に絹を使用し独特のリボン織の開発に成功しました。現存する石造のノコギリ屋根工場は、外壁を大谷石、内部を漆喰塗で仕上げられています。現在は、美容室として利用されています。

本町エリア

交 桐生駅より徒歩10分

桐生市内で大規模な織物工場を操業していた金善織物会社が大正10年ごろに建てたビルで、事務所として使用されていました。地上4階、地下1階建てで、県内でも初期の鉄筋コンクリート造りの建物であり、当時の桐生新町のシンボルの一つでした。

金善ビル F

（かなぜん）

桐生市本町5-345
0277-46-1111

後藤織物 G

桐生市東1-11-35
0277-45-2406

本町エリア

開 見学は要予約　料 300円
交 桐生駅より徒歩15分

現在も織物生産を行っている後藤織物。現存する木造のノコギリ屋根工場のほか糸蔵、織物倉庫などは、織物生産のシステムをそのまま現しており、予約すれば見学も可能です。

森秀織物 H

（もりひでおりもの）

桐生市東4-2-24
0277-45-3111

本町エリア

交 桐生駅より徒歩15分

木造鉄板葺きの3連のノコギリ屋根工場は、現在も稼働している工場です。高級織物であるお召しの技術を活かし、文楽人形の衣装や歌舞伎の装束などを織るなど、桐生織物の伝統的技術の復元とその継承に努めています。

旧曽我織物工場 (I)

桐生市本町1-7-15
☎0277-46-1111
本町エリア

開 お問い合せください
交 桐生駅より徒歩20分

大正11年(1922)に建築された大谷石造り5連のノコギリ屋根工場には、屋根に換気塔が立ち、壁には丸型の換気窓が設けられています。重伝建地区内で見られるノコギリ屋根工場では代表的なものです。

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区 (J)

桐生市本町1及び2の全域並びに天神町1の一部
☎0277-46-1111
本町エリア

交 桐生駅より徒歩20分

天正19年(1591)に桐生新町が形成されて以来、この地区は織物の中心地として桐生の経済発展を支えてきました。桐生の織物業は大正期から昭和初期に最盛期を迎え、当時の桐生新町の町並みには買継商や糸商、呉服商、染物業など織物業の店舗などが立ち並びました。

県繊維工業試験場 (K)

桐生市相生町5-46-1
☎0277-52-9950
川相広エリア

開 お問い合せください
交 相老駅より徒歩10分

明治38年染織業の技術改良のために前身が設立され、のちに桐生と伊勢崎の試験場が統合されて現在の繊維工業試験場となりました。製織・染色・加工の研究ほか、遺伝子組み換えカイコ絹糸研究も行っています。

桐生織塾(旧青木家住宅) (L)

桐生市梅田町1-802
☎0277-46-1111
梅菱境エリア

交 桐生駅より車で25分

旧青木家住宅は、明治初期に、エンジンやボイラーなどを備えた近代的な工場をもった「成愛社」の発祥の地です。

桐生織物記念館 16ページへ

桐生市永楽町6-6
☎0277-43-7272 (M)
本町エリア

交 桐生駅より徒歩5分

昭和9年(1934)に桐生織物向上のため設立された桐生織物同業組合の事務所として建てられました。スクラッチタイル張りに青緑色の洋瓦葺、ステンドグラスを用いた洋風の外観となっています。現在は「桐生織物記念館」として一般公開しています。

無鄰館(むりんかん) 14ページへ

桐生市本町1-5-5
☎0277-44-0277 (O)
本町エリア

交 桐生駅より徒歩20分

もとは「北川織物工場」といい、現在は「無鄰館」として建築設計事務所のほか彫刻家、画家たちの創作工房として利用されています。現存するノコギリ屋根工場は、大正5年(1916)に建築され、昭和35年頃まで操業していました。

白瀧神社(しらたき) 8ページへ

桐生市川内町5-3288
☎0277-46-1111 (Q)
川相広エリア

交 桐生駅より車で15分

京都から織物技術を伝えたという「白瀧姫」など、伝説の織物の神をまつる神社です。境内には耳をあてると機音が聞こえたという「降臨石」と呼ばれる大岩や、樹齢300年以上といわれるケヤキがあり、神秘的な雰囲気がただよっています。

織物参考館"紫"(ゆかり) 4ページへ

桐生市東4-2-24
☎0277-45-3111 (N)
本町エリア

交 桐生駅より徒歩15分

「織物参考館"紫"」は、森秀織物の旧釜場、旧整経場、旧ノコギリ屋根工場などを利用した体験型博物館です。館内では、染色や手織の体験や織物の歴史の学習、古織機などを見学することができます。

金谷(かなや)レース工業株式会社

桐生市東久方町1-1-55 4ページへ
☎0277-46-1111 (P)
本町エリア

交 桐生駅より徒歩25分

明治時代初頭に創業された織物工場で、工場は大正8年12月完成し当初は6連のノコギリ屋根でした。市内に唯一現存するレンガ造りのノコギリ屋根工場で、現在は「ベーカリーカフェ　レンガ」として活用されています。

彦部(ひこべ)家住宅 8ページへ

桐生市広沢町6-877
☎0277-52-6596 (R)
川相広エリア

交 北関道太田桐生ICより車で15分

彦部家住宅は関東地方でも最古級の民家建物として有名ですが、この主屋の北側は江戸時代より染織工場として使用されていました。さらに、明治から大正にかけてはノコギリ屋根工場や寄宿舎、医務所を造築し、近代的な織物工場になりました。

桐生市の足跡

年代	出来事	スポット
縄文時代		千網谷戸遺跡(ちあみがいといせき)など(絹撚記念館)
古墳時代		中塚古墳など(新里)
奈良時代		武井廃寺塔跡(新里)
714年	上野ほか4国の調(税)が「あしぎぬ」とされる	
795年	美和神社 官社となる	
801年	山上の多重塔建立される	山上の多重塔(新里)
1180年	桐生六郎が足利忠綱とともに源頼政と戦う	
1350年	桐生国綱が柄杓山城を築く	柄杓山城(梅田)桐生氏関連
1573年	桐生氏滅ぶ 由良氏の統治へ	鳳仙寺・青蓮寺・普門寺
1590年	徳川家康関東に入国 由良氏は牛久へ移封	
1591年	桐生新町の町立てがはじまる	重伝建地区
1600年	関が原の合戦に際し、旗絹2,410疋献上	桐生天満宮
1661年	桐生領が館林藩領となる	
1656年	桐生新町で牛頭天王祭礼を行う	桐生祇園のはじまり
1738年	西陣から高機が伝わる	桛機姫神社(菱町)
1779年	桐生領が酒井忠休の領地となる	陣屋跡
1877年	森山芳平らジャカード機を購入	桐生織物
1889年	両毛線開通	
1911年	足尾鉄道開通	
1913年	東武鉄道開通	
1919年	桐生倶楽部創立	桐生倶楽部
1921年	市制施行	
1928年	上毛電鉄開通	西桐生駅
1946年	岩宿遺跡が相沢忠洋により発見される	相沢忠洋記念館
1953年	桐生が岡動物園開園	
1971年	桐生が岡遊園地開園	
1986年	桐生川源流が森林浴の森百選に選ばれる	桐生川源流
2005年	ぐんま昆虫の森オープン	
2012年	桐生新町重要伝統的建造物群保存地区選定	
2013年	篠原涼子さんを桐生市観光大使に任命	
2015年	市内6件の文化財が日本遺産に認定される	

桐生氏

桐生新町の形成

織物近代化最盛期へ

絹遺産群

桐生に欠かせない「織物」にまつわるスポットたち

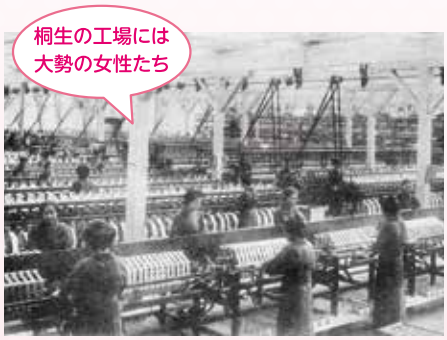
桐生の日本遺産

かかあ天下ーぐんまの絹物語ーの構成文化財を巡れば、
最先端の活躍をした女性たちの姿が見えてくるはず。
天下を牽引する活躍を見せたキャリアウーマンたちの
足跡をたどってみてはいかがでしょうか。

日本遺産

JAPAN HERITAGE

日本遺産とは、文化庁が認定する地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーです。平成27年4月に、18件のストーリーが、日本遺産として認定されました。この日本遺産の一つとして、群馬県内4市町村（桐生市、甘楽町、中之条町、片品村）にある12件の資産から構成される「かかあ天下-ぐんまの絹物語-」が認定されました。そして、その12件のうち6件が桐生市にあるのです。日本で初めて認定された日本遺産。その構成資産である絹にまつわるスポット12件のうち、6件もが桐生市にある。この一事をもって、桐生がいかに優れた織物のまちであるかをご理解いただけるかと思います。


桐生の工場には大勢の女性たち

大正9年頃の桐生の働く女性

「かかあ天下」のストーリー

古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍しました。夫（男）たちは、「おれのかかあは天下一」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっています。「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる……というものです。女性の活躍が目覚ましい現代ですが、「かかあ天下」として知られる上州ぐんまは、時代をリードするパイオニア的存在であったといえます。

天満宮古民具骨董市

毎月第一土曜日は、桐生天満宮で天満宮古民具骨董市が開かれます。平成5年10月から開催されている骨董市。毎回約80もの出店があり、今では東京東郷神社、川越骨董市と並び関東三大骨董市と言われるようになっています。会場の天満宮境内は若いカップルから年輩の方まで様々な人々で賑わい、店主と気軽に交渉をしている姿も目立ちます。陳列品は鉄瓶、火箸などの生活道具から古書、カメラ、陶磁器、版画、刀剣といったものまで、実に幅広い品ぞろえです。
そのほか、買場紗綾市、桐生楽市などの市が立ち、まちなかが多くの人でにぎわいます。

伝建地区（でんけんちく）

（桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区）

400年以上前の町立て当初の区割りが残る、明治・大正時代の建物がレトロな雰囲気を醸し出すこのエリアに足を向ければ、タイムスリップ気分を味わえること間違いなし。ただ見て回るだけではなく、ガイドの説明を受けながら観光すると、より一層お楽しみいただけます。観光ガイド「“織都桐生”案内人の会」が、お客様のニーズにあわせて、桐生のまちをご案内します。また、地区内の古民家カフェ「大風呂敷」では、毎月第一土曜日に着物着付けがお得（着物レンタルと着装3,000円）。着物を着付けてのまち歩きは、外国人観光客にも大変好評です。詳しくは、P33・34でご覧ください。
その他、レンガ造りのノコギリ屋根工場をリノベーションしたおしゃれなパン屋さん「ベーカリーカフェレンガ」やあんこから手作りの和菓子が美味しいカフェ「こととい喫茶店」、桐生のご当地グルメとして知られる幅広のうどん「ひもかわ」を味わえる「藤屋本店」など、周辺にはグルメスポットがたくさん。

桐生市本町1丁目、2丁目、天神町の一部
0277-46-1111（桐生市観光交流課）
交 【車】北関東自動車道太田桐生ICより約20分 【電車】JR桐生駅より徒歩約15分

後藤織物（ごとうおりもの）

桐生市東1-11-35
0277-45-2406
開 要予約
料 300円
交 【車】北関東自動車道 太田桐生ICより約20分

日本遺産であり、国登録有形文化財であり、経済産業省近代化産業遺産であり、群馬県知事が登録するぐんま絹遺産であり、今も現役で生産を続ける帯メーカー「後藤織物」。文化財的価値を持つほど伝統がありながらも、ハリウッド映画に衣装を提供するなど最先端の世界的な活躍を続けています。NHKの朝の連続テレビ小説「マッサン」でも衣装が使われました。
現在も女性の職人が織機を操り、帯を生産しています。もちろん、工場見学が可能です。こちらでは、産地価格で帯をお買い求めいただくことができます。ここだけの話ですが、織物は流通が複雑なので、産地で直接購入すると、場合によっては4割引き・5割引きになることもあります。こんなにお買い得なのは、今も織物の生産を続けている“桐生ならでは”です。

織物参考館“紫”（おりものさんこうかん ゆかり）

桐生市東4-2-24
0277-45-3111
開 10:00～16:00
料 大人700円、大学600円
中高生500円、小学400円
休 月曜日（但し祝日の場合は営業）
交 【車】北関東自動車道 太田桐生ICより約20分

「織物参考館“紫”」は、のこぎり屋根の体験型博物館です。織物の歴史の学習、古織機などを、解説員の説明を聞きながら見学することができます。また、手織り体験や染物体験が出来ます。自分で作った藍染のハンカチは、思い出に残る世界でたった一つのお土産になります。現役で稼働する織物工場「森秀織物」の、製品を生産する現場を見学することもできます。森秀織物の「お召しアカスリ」は、天皇家御用達として、本に紹介されています。こちらの施設は、天皇陛下（当時は皇太子殿下）をはじめ、数多くの皇族の方に足を運んでいただいております。桐生駅から織物参考館“紫”までは、土・日・祝日に電動バスMAYUが走っています。無料で乗れるうえ、運転手によるまちなかのガイドもございますので、ぜひご利用いただきたいと思います。

絹撚記念館（けんねんきねんかん）

（旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟）

桐生市巴町2-1832-13
0277-44-2399
開 9:00～17:00 休 月曜日（祝日の場合は翌日）・祝日の翌日
交 【車】北関東自動車道 太田桐生ICより約20分

全国にわずか6ヶ所しかない「模範工場」の事務所として使われていた建物です。大正6年に建てられたもので、群馬県最古級の洋風石造建造物と考えられます。関東大震災以前の洋風石造建造物は、全国的にも貴重です。現在は、郷土資料の展示施設として公開されています。

桐生織物記念館（きりゅうおりものきねんかん）

（桐生織物会館旧館）

桐生市永楽町6-6
0277-43-7272
開 10:00～17:00 休 毎月最終週の土曜・日曜
交 【車】北関東自動車道 太田桐生ICより約20分

桐生織物業界の作戦本部として、桐生織の大躍進を支えた「桐生織物同業組合」の旧事務所跡。まさにここで桐生織物の歴史が作られていったともいえる施設です。現在は、1階では桐生の織物製品を、洋装と和装に分けて販売しています。桐生織の小物は、カワイイ&オシャレなものばかり。2階は、織機や織物が展示されており、解説員による説明を無料で受けられます。

白瀧神社（しらたきじんじゃ）

縁結び神社

桐生市川内町5-3288
パワースポット
開 外観のみ見学可
交 【車】北関東自動車道 太田桐生ICより約35分

恋愛成就間違いなし！古くからの歴史を持つパワースポット「白瀧神社」。はるか昔、京都から織物技術を伝えた「白瀧姫」をまつる神社です。
桐生市から朝廷へ上った若者が、和歌を通じ、身分の違いを乗り越えて白瀧姫を妻とした伝説から、縁結び神社として知られています。境内には、耳をあてると機音が聞こえたという大岩「降臨石」があります。

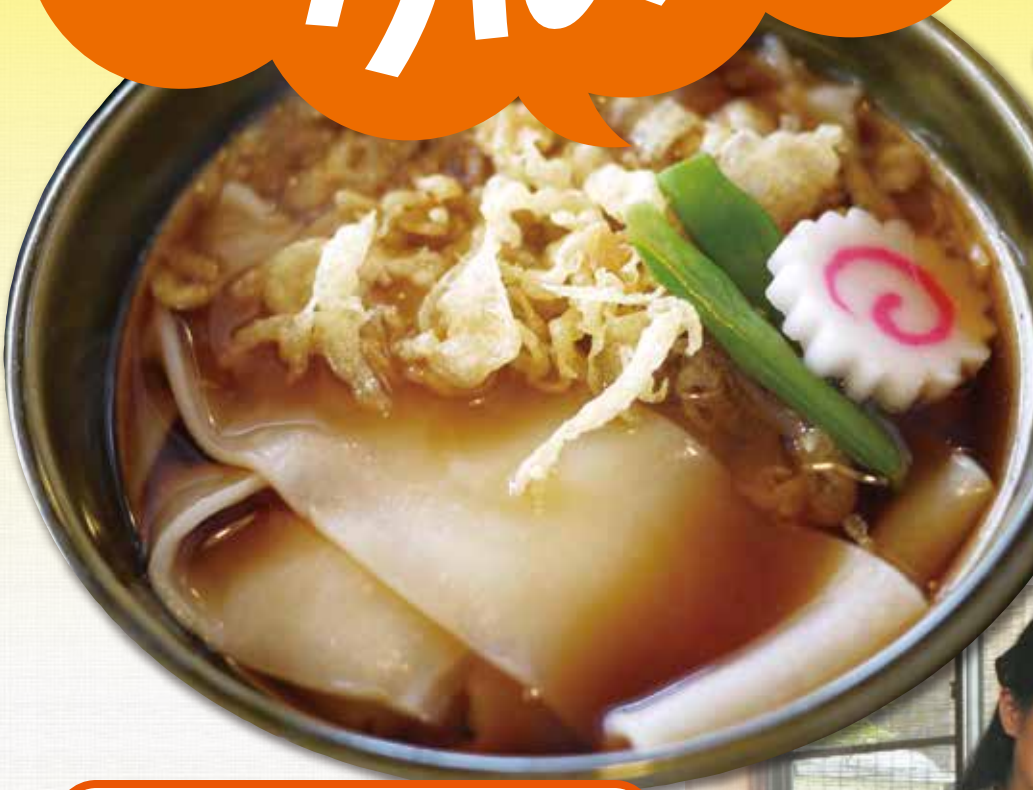
ご当地逸品

桐生のグルメ！ 地元のおいしい大集合

うどん

古くから小麦の生産が盛んな群馬県では、数多くの粉食文化が育まれてきました。

桐生では多くの女性が織物業に携わっていたことから、作り置きができ調理も手軽なうどんが大変重宝されました。日常食として、また、客人をもてなす時にも、桐生では欠かせない料理でした。



もちもちした食感でおいしい

ひもかわ

ひもかわの起源については諸説がありますが、忙しい女性が少しでも手間を減らすために幅広に切るようになった、とも言われています。もともとは冬に煮込んで食べる物ですが、最近では一年を通して食べられる店も多く、調理法も「かけ」や「もり」が主流となっています。幅2～3cmのものから、10cmを優に超えるものなど、厚みや幅など、お店ごとに異なりますので食べ比べもおススメです。

カレーうどん

桐生のうどんでもう一つおススメしたいのがカレーうどん。ルーから作る自家製カレーはそれぞれに個性的で、うどんとの相性もバッチリ!寒い冬はもちろん、暑い夏にも是非どうぞ。

揚げたてのカツに甘辛いソース

ソースカツ丼

ひもかわと並ぶ桐生のご当地グルメの雄、ソースカツ丼はとにかくシンプルが身上です。ご飯と甘辛いソースに浸したトンカツだけの、この潔さが何にも勝る魅力。「迷ったらソースカツ丼」です。

全国各地で親しまれるソースカツ丼だが、その発祥は桐生。ソースカツ丼専門店があるほど。

お好みの味を探してみてね

絶品! ご当地グルメ

焼きまんじゅう

群馬のご当地グルメとして全国区の知名度を誇る焼きまんじゅうは、もちろん桐生でも生活に溶け込んでいます。群馬に来たら焼きまんじゅうを。お土産に適した商品もあります。

子供洋食

名前の由来や発祥はよく分かっていませんが、昔はひき売りで子供が気軽に買えるおやつだったそうです。ソースとジャガイモの組み合わせはジャガイモ入り焼きそばとも関連しているのかもしれません。

ポテト入り焼きそば

全国各地にご当地の味が点在する焼きそばですが、桐生の焼きそばは「ジャガイモ」が入るのが特徴。「炭水化物」+「炭水化物」の夢のコラボレーション、一度はご賞味ください。

詳しくは、桐生市観光交流課へ ☎0277-46-1111

とっておきのおいしいグルメ情報をお伝えします。
おいしいお店を大特集したパンフレット等もご用意しています!

あの味、この品! 地域のおいしいが大集合

花ぱんアラカルト！

花ぱん

桐生天満宮の神紋である「梅」をかたどったスイーツで、その歴史は100年以上。今では市内たくさんのお店で売られています。同じようでいてそれぞれ個性的な花ぱんを今回集めてみました。天神様に由来するお菓子なので受験生へ、また、桐生を代表するスイーツとしてもお土産にもぴったり。牛乳と一緒に食べるのがおススメです。

■中村屋	広沢町間ノ島372-1　☎0277-53-7506 大きさは中くらい。砂糖も生地もしっとり感があります。
■伊勢屋新桐生	相生町一丁目14　☎0277-54-7330 香り高い砂糖がたっぷりです。
■日盛堂	泉町804　☎0277-45-0608　ふわふわした生地が特徴。 オーソドックスな物以外にもゆずや黒糖などのバリエーションがあります。
■若林和菓子店	新宿一丁目12-1　☎0277-44-3357 外がさっくりした軽めの生地で程よい甘さ。形が焼きまんじゅうに似ています。
■根岸屋	広沢町一丁目2912　☎0277-54-1855 小ぶりなサイズで、洋菓子のようなサクサクした食感がとても個性的な一品です。
■辰見屋	本町六丁目388　☎0277-45-2631 しっかりとした甘さ控えめな生地と、多めの砂糖が絶妙なバランスです。
■文寿堂	天神町二丁目3-20　☎0277-22-4035 平たい形が特徴的な、口溶けの良い軽い食感の生地。季節限定のバリエーションも豊富です。
■桐峰菓子舗	菱町四丁目2361-1　☎0277-43-2664 ずっしりとした生地に甘さ控えめな砂糖の組み合わせ。端正な見た目です。
■美世志	境野町七丁目1755-3　☎0277-45-3346 きめ細かく口溶けの良い生地です。
■小松屋	本町四丁目82　☎0277-44-5477 パサつきを抑えたしっかり系の生地はクセがなくさっぱりした甘さです。
■梅月糸屋通り	永楽町8-1　☎0277-22-3875 完全手造りで無添加。風味豊かな生地は小さめサイズです。
■あら木	仲町一丁目8-2　☎0277-43-4663 地元の粉を使っているという軽めの生地に多めの砂糖がサクサクと心地よい。

アイスまんじゅう

古くから桐生で愛されている、あんこが入った和風アイス。レトロなパッケージが目印です。市内のコンビニエンスストアなどでも買えますよ。

ビスロール

バターロールとクロワッサンの中間のような見た目ですが、さにあらず。パン生地とビスケット生地を重ねて巻いて焼き上げた、桐生のご当地パンです。優しい甘さが愛され続ける理由でしょうか。

栗まんじゅう

栗は入っていませんが栗の形をしているから「栗まんじゅう」。生地とあんこの絶妙なバランスが桐生市民を魅了して止みません。

お土産　桐生のおみやげを買うならココ！おいしいグルメやおしゃれな小物、新鮮な地場産野菜など、様々！

桐生観光物産館わたらせ　本町エリア

☎0277-40-1888　〒末広町11−1
営 9:00～18:00　休 無休

梅田ふるさとセンター　梅田エリア

☎0277-32-1100　〒梅田町5丁目7568−1
営 9:00～17:00　休 月曜(祝日のときは翌日)
年末年始(12/29～1/4)

桐生地域地場産業振興センター　本町エリア

☎0277-46-1011　〒織姫町2-5
営 9:00～18:00　休 月曜、年末年始

新里町農産物等直売所　新里エリア

☎0277-74-4100　〒新里町赤城山553−1
営 3月～10月 9:00～17:00
11月～2月 9:00～16:00

道の駅くろほねやまびこ　黒保根エリア

☎0277-96-2575　〒黒保根町下田沢91-4
営 9:00～17:00　休 12/30～1/4

桐生織物記念館　本町エリア

☎0277-43-7272　〒永楽町6-6
営 10:00～17:00　休 毎月最終週土・日曜

あの味、この品！地域のおいしいが大集合

ミュージアム

文化と伝統。歴史、学び、遊び、憩いが集まる施設も勢揃い。

おでかけしよう!

大川美術館

松本竣介、野田英夫の日本最大のコレクションと、二人を軸に、彼らと交流のあった画家の作品を中心としています。

0277-46-3300　開 10:00～17:00
休 月曜(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月3日)その他臨時休館あり。
交 桐生駅より徒歩15分
小曾根町3-69

絹撚記念館（けんねんきねんかん）

本町エリア

現存するものとしては県内でも最古の洋風石造建築とされ、桐生市の郷土資料を展示しています。

0277-44-2399
開 9:00～17:00
休 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
交 桐生駅より徒歩4分
巴町2-1832-13

黒保根歴史民俗資料館

黒保根エリア

黒保根の歴史、人々の暮らし・文化を紹介。日本初の生糸直輸出を成し遂げた星野長太郎・新井領一郎の業績展示のほか、各時代の生活道具も並びます。

0277-96-3125
開 10:00～16:00
休 月曜日・祝日の翌日・年末年始
交 水沼駅より徒歩10分
黒保根町水沼乙175

織物参考館"紫"（ゆかり）

「動く、さわれる、生きている」体験型の織物博物館。古い織機や貴重な資料など1200点余りが展示されています。

本町エリア

0277-45-3111　開 10:00～16:00
休 月曜日(但し祝日の場合は営業)
交 桐生駅より徒歩15分
東4-2-24

染色体験 手織体験 しよう!

桐生織物記念館

桐生織物同業組合の事務所として建築され、織物や織機の展示のほか、産地価格での織物製品が販売されています。

本町エリア

0277-43-7272　開 10:00～17:00
休 毎月最終土・日、8/13～16、12/29～1/3
交 JR桐生駅より徒歩5分
永楽町6-6

無鄰館（むりんかん）

ノコギリ屋根工場の保存・活用のため、若い芸術家などに開放されています。

0277-44-0277
開 10:00～16:00
休 無休
交 桐生駅より徒歩20分
本町エリア
本町1-5-5

相澤忠洋記念館（あいざわただひろきねんかん）

故相澤氏は日本に旧石器時代が存在することを立証した岩宿遺跡の発見者です。館内には歴史を塗り変えた槍先形尖頭器等多数の資料が展示されています。

0277-74-3342
開 10:00～17:00
休 月曜日
交 北関道伊勢崎ICより車で20分
新里エリア
新里町奥沢537

ぐんま昆虫の森

里山で昆虫観察しよう!

園内には雑木林や棚田、桑園など日本人の原風景が広がり、自然観察や里山体験ができます。地上3階建の昆虫観察館には広い生態温室もあり、一年中亜熱帯のチョウを観察できます。

0277-74-6441
開 4月～10月 9:30～17:00　11月～3月 9:30～16:30
休 月曜日(祝日の場合は翌日)
※年末年始、メンテナンス休園があります。
※夏季特別開園があります。
交 北関道伊勢崎ICより車で20分
新里エリア
新里町鶴ヶ谷460-1

画になる街

桐生ロケ地めぐり

「桐生は日本のロケどころ」
あの場所、この場所がこんなシーンに。
意外な発見を求めて、人気のロケ地めぐりを楽しんでみては。

MAP

桐生明治館での撮影風景

至みどり市
わたらせ渓谷鐵道
総合運動場前
東武桐生線
桐生球場前
運動公園
相生町3
天王宿
相生町2
相老
丸山下
上毛電気鉄道
富士山下
桐生合同庁舎前
西桐生
桐生駅
美原町
相生町1
錦町十字路
錦町2
岩宿遺跡入口
健康センター入口
阿左美岩宿
新桐生
広沢町1
鹿
岩宿
至前橋市
JR両毛線
岡の上
阿左美沼入口

桐生球場
「フレフレ少女」

西公民館分館
「FUNKY MONKEY BABYS」
「遊助（上地雄輔）」他

桐生市運動公園
「君に届け」他

五十番
「風が強く吹いている」

桐生明治館
「純情きらり」他

桐生厚生総合病院
「時をかける少女」
「はやぶさ」他

旧発明センター
「あしたのジョー」他

岡の上団地
「君に届け」

桐生市役所
「山本五十六」他

桐生市市民文化会館
「S-最後の警官-」

ロケ地めぐり

映画・ドラマなどのロケ地として使われたスポット
数々の名シーンが生まれた"画になる街"桐生市

わたらせフィルムコミッション
WATARASE FILM COMMISSION

多くの映像製作のサポートを行うフィルムコミッション。
桐生市観光交流課に連絡窓口を持ち、
映画やドラマなどの撮影を、様々に支援します!
http://www.watarase-fc.com/

ロケ弁

「ロケ弁」は私たちがサポートします!桐生名物「ソースカツ丼」や「うどん」をはじめ多彩なメニューをご提供。10個～数百個まで対応可能なお店をご紹介します。ケータリング可能のお店もあり。

主な作品

映画
「フレフレ少女」(松竹/2008年 公開)
「おと・な・り」(ジェイ・ストーム/2009年 公開)
「風が強く吹いている」(松竹・2009年 公開)
「僕の初恋をキミに捧ぐ」(東宝/2009年 公開)
「時をかける少女」(スタイルジャム/2010年 公開)
「君に届け」(東宝/2010年 公開)
「ヘヴンズ ストーリー」(ムヴィオラ/2010年 公開)
「あしたのジョー」(東宝/2011年 公開)
「これでいいのだ!! 映画★赤塚不二夫」(東映/2011年 公開)
「白夜行」(ギャガ/2011年 公開)
「聯合艦隊司令長官 山本五十六」(東映/2011年 公開)
「はやぶさ 遥かなる帰還」(東映/2012年公開)
「リアル鬼ごっこ3」(ユナイテッドシネマ/2012年公開)
「劇場版 ATARU THE FIRST LOVE & THE LAST KILL」(東宝/2013年公開)
「はじまりのみち」(松竹/2013年公開)
「セーラー服と機関銃」(東宝/2016年公開)
「64-ロクヨン- 前編/後編」(東宝/2016年公開)
「HiGH & LOW THE MOVIE」(松竹/2016年7月公開予定)

テレビ
「人間の証明」(フジテレビ/2004年)
「対岸の彼女」(WOWOW/2006年)
NHK「連続テレビ小説 純情きらり」(NHK/2006年)
「ナツコイ」(毎日放送/2008年)
「恋空」(TBS/2008年)
「仮面ライダーオーズ/OOO」(テレビ朝日/2010年)
「捜査検事 近松茂道」(テレビ東京/2011年)
「獣電戦隊キョウリュウジャー」(テレビ朝日/2013年)
「TVアニメ 惡の華」(ZEXCS/2013年)
「S-最後の警官-」(TBSテレビ/2014年)
NHK「連続テレビ小説 花子とアン」(NHK/2014年)
「食の軍師」(TOKYO MX/2015年)
「HiGH & LOW シーズン1」(日本テレビ/2016年)

その他
「遊助(上地雄輔)」(PV)
「FUNKY MONKEY BABYS」(PV)
「w-inds.」(PV)
「リプトン」(CM)
「日清Spa王」(CM)
「呪われた学校」(携帯動画)
「E-girls」(PV)

森と水 心地よい風

桐生の自然

豊かな森と清らかな清流、ハイキングコースに
森林公園、昔ながらの里山風景・・・
それぞれの楽しみ方がある桐生の自然

本町エリア

吾妻山（あづまやま）

非常に身近な山として市民に親しまれています。標高は481mとそれほど高くはありませんが、山頂からは壮大な関東平野が望めます。また、吾妻山から鳴神山へ尾根づたいに縦走するコースは変化に富み、県内外から多くのハイカーが訪れます。

宮本町・川内町 他

柄杓山（ひしゃくやま）

梅田エリア

戦国末期まで山城があったため「城山」の別名があり、一部に堀切の跡などが残ります。標高361m。

梅田町一丁目

根本山（ねもとさん）

梅田エリア

桐生川の源流を抱く標高1199mの信仰の山です。江戸時代には案内本が発行されるなど、大いに信仰を集めました。

梅田町五丁目

梅田エリア

鳴神山（なるかみやま）

中・低山として高い人気を誇る、標高980mの鳴神山。花の山としても有名で、固有種のカッコソウをはじめ多くの花が季節を彩ります。梅田側・川内側それぞれに趣の異なるコースの登山口があります。

梅田町三丁目・川内町五丁目

富士山（ふじやま）

相生エリア

その名が示すとおり富士信仰の山で、10分程度で登れる低山ですが登山道には合目石もおかれ、頂上近くには浅間神社が祀られています。標高163m。

相生町二丁目

茶臼山（ちゃうすやま）

広沢エリア

桐生市の南側に位置する293mの低山で、気軽に登れて眺めが良いことから人気があります。

広沢町三丁目

赤城山（あかぎやま）

黒保根エリア

上毛三山にして、日本百名山に名を連ねる群馬を代表する山です。実際には多くの頂を持つ複成火山で、最高峰である黒檜山頂が桐生市域になります。

新里町・黒保根町

野の大クスノキ（のおおクスノキ）

新里エリア

樹齢600年以上と推定され、高さ20m以上、目通り周囲6.9mという県内でも屈指の巨木です。

新里町野

相老のマツ（あいおいのマツ）

相生エリア

アカマツとクロマツが根元で完全に癒着している特異な松の木です。

相生町二丁目

崇禅寺イトヒバ（そうぜんじイトヒバ）

川内エリア

サワラの変種であるイトヒバの巨木です。腰から多数に分かれた枝が美しい樹姿を形作っています。

川内町二丁目

二渡のカヤ（ふたわたりのカヤ）

梅田エリア

推定樹齢は450年、樹高はおよそ16メートルに及び、カヤとしては非常に立派なものです。

梅田町四丁目

栗生神社の大スギ（くりゅうじんじゃ）

黒保根エリア

栗生神社境内中央の大杉は、大同2年（802）に植えられたといわれています。樹齢1,200年の大神木は、目通り7mにもおよぶ巨木で、県指定の天然記念物です。

黒保根町上田沢

赤城寺（あかぎじ） 新里エリア

5,000株を超える様々な種類のシャクナゲが植えられており、4月中旬の日本シャクナゲから5月半ばの西洋シャクナゲまでの長い花期を誇ります。

新里町大久保413-4

柏山のしだれ桜（かしやま） 黒保根エリア

市道からの見物になりますが、樹高15メートルを越えるシダレザクラの巨木は見ごたえ十分です。

黒保根町柏山

サクラソウふれあい公園 新里エリア

サクラソウ自生地は全国的な減少が続き、貴重なものとなりつつあります。4月中旬から5月中旬の花期にはたくさんの見学者が訪れます。また、板橋地区の自生地はバリアフリーの「サクラソウふれあい公園」として整備され、誰でも気軽にサクラソウを見学することができます。

新里町板橋

お角桜（かくざくら） 新里エリア

もとは1196年に新井家当主によって植えられ、娘の名前にちなんで「お角桜」と呼ばれています。現在の木は二代目です。

新里町新川3253

おかめ桜 新里エリア

樹齢400年を越えるシダレザクラの古木で、美しい女性の名前にちなんで名づけられたと伝えられています。

新里町鶴ヶ谷539

さくら街道 黒保根エリア

利平茶屋森林公園へ向かう県道沿いに約1,000本の桜が植えられ、標高差や種類の違いによって長い期間花を楽しむ事ができます。

黒保根町下田沢

つつじ街道 黒保根エリア

黒保根町清水地区の市道沿い、ヤマツツジを中心におよそ1,000本が地区住民の手により整備されています。

黒保根町清水

龍真寺（りゅうしんじ） 新里エリア

ぼたん寺の別称でしられる龍真寺。4月中旬から5月上旬にかけて2,500株ものボタンが境内を彩ります。

新里町新川1051

吾妻公園（あづま） 本町エリア

四季折々の花が出迎えてくれる、自然あふれる公園です。吾妻山や鳴神山へのハイキングコースの基点としても利用されています。

宮本町三丁目

南公園 広沢エリア

運動施設や野外ステージを備える総合公園ですが、芝生広場を囲うように整備された梅林がひときわ有名です。毎年梅の花の時期には梅まつりが開催されます。

広沢町五丁目

梅田湖（うめだこ） 梅田エリア

市内中心部から車で30分ほどで行けるダム湖。桐生川の豊富な水をたたえ、釣りや貸ボートが楽しめます。

梅田町四丁目・五丁目

渡良瀬川（わたらせがわ） 川内エリア 黒保根エリア

栃木県の足尾に源を発する利根川の支流で、季節ごと流域ごとに多彩な表情をみせる、この地方を代表する川です。アユ釣りのメッカとしても知られ、6月から8月まで多くの釣り客でにぎわいます。

古路瀬渓谷（こじせけいこく） 黒保根エリア

古路瀬と書いて「こじせ」と読む、渡良瀬川でも屈指の紅葉の名所です。わたらせ渓谷鐵道の車窓から眺めるのがおススメです。

黒保根町宿廻

利平茶屋森林公園（りへいぢゃや） 黒保根エリア

標高1,000mの赤城山登山口にある利平茶屋森林公園。木立に囲まれた園内には鳥居川の清流でイワナ釣りが楽しめるほか、東家でバーベキューもできます。

黒保根町下田沢

宿泊

桐生八木節まつりなどのイベントやまち歩きに便利なまちなかの宿のほか、川沿いにたたずむ割烹旅館、大自然を満喫できる温泉宿などバリエーション豊かな宿泊施設が揃っています。

梨木温泉　梨木館

清流沿いにある温泉宿。坂上田村麻呂が東征の折に開湯したとの伝説が残る。美しい星空や氷柱など、季節ごとの美しい自然を堪能できる。

梨木温泉　梨木館

0277-96-2521　HP http://www.nashigi.com/

交 ・電車でのアクセス
わたらせ渓谷鐵道「本宿駅」より送迎10分（当日要予約）
・車でのアクセス
東北自動車道佐野ICより車約で1時間
北関東自動車道伊勢崎ICより車で約40分
北関東自動車道太田藪塚ICより車で約40分
関越自動車動赤城ICより車で約50分

黒保根町宿廻285

東横イン桐生駅南口

本町エリア

0277-44-1045

交 桐生駅南口徒歩1分

巴町二丁目1810-18

桐生グランドホテル

相生エリア

0277-53-6211

交 北関道太田藪塚ICより車で20分

相生町五丁目111-3

清風園（せいふうえん）

梅田エリア

0277-32-1181

交 桐生駅より車で25分 北関道太田桐生ICより車で1時間

梅田町五丁目7652

宿泊・日帰り施設

桐生旅館ホテル組合
0277-53-6211

本町エリア		
シルバーホテル	末広町4-13	0277-22-7717
パールホテル	末広町2-9	0277-22-0166
パークイン桐生	巴町2丁目2-3	0277-22-8910
ビジネスホテル西桐生	永楽町4-14	0277-22-2985
エースホテル	巴町2丁目1893-9	0277-47-4910
桐盛館	末広町7-17	0277-22-5421

広沢エリア		
ホテルシティ	広沢町2丁目2955-2	0277-54-1927

新里エリア		
ロッジ　欅（けやき）	新里町高泉438-56（赤城ロマンド内）	0277-74-1111

黒保根エリア		
赤城閣旅館	黒保根町水沼125-1	0277-96-2705
ペンション遊房	黒保根町上田沢1571	0277-96-3939
ふるさと探訪ふれあい館	黒保根町下田沢347-17	0277-96-2113

四季をつづるイベント

桐生の歳時記

地域の息づく伝統と文化、色とりどりの四季が織りなす「桐生」をぜひ体験、体感して下さい。

1月 January

●元旦
ニューイヤー駅伝（市内各所）

ニューイヤー駅伝

●7日
七草粥（川内町崇禅寺）

●1月4日以降の最初の日曜日
幸運祭（広沢町大雄院）

●第三日曜日
だるま市（菱町普門寺）

七草粥

ロウバイ（新里町山上城跡公園）

2月 February

●3日
御籌神事（広沢町賀茂神社）

●第二日曜日
堀マラソン（市内各所）

ロウバイ

ツバキ（新里町山上城跡公園）

ウメ開花（広沢町南公園）

●下旬
桐生広域物産まつり
（織姫町市民文化会館）

お角桜

3月 March

●下旬
桐生新町町立て祭

お角桜（新里町新川）

おかめ桜（新里町鶴ケ谷）

4月 April

●上旬
花まつり
（黒保根町正円寺）

サクラ開花（桐生が岡公園 柄杓山 新里総合グラウンド周辺）

アカヤシオ開花（鳴神山）

山桜・山野草（ぐんま昆虫の森）

さくら街道（黒保根町下田沢）

黒保根運動公園の桜（黒保根運動公園）

柏山のシダレザクラ・八重桜（黒保根町下田沢）

●14・15日
太々神楽（広沢町賀茂神社）

●中旬
チューリップまつり
（宮本町吾妻公園）

ナルカミスミレ開花（鳴神山）

シャクナゲ（新里町赤城寺）

おかめ桜

清水つつじ街道（黒保根町下田沢）

ボタン（新里町龍真寺）

サクラソウ（新里町赤城山・板橋地区群落）

アメリカ花水木（コロンバス通り）

5月 May

ツツジ（鳳仙寺）

白ヤシオ（花見ケ原・利平茶屋）

ミツバツツジ（花見ケ原・利平茶屋）

ヤシオツツジ（黒保根町上田沢奥山・利平茶屋）

シャクナゲ（花見ケ原・利平茶屋）

●下旬
さつきまつり
（市内中心部）

さつきまつり

6月 June

●上旬～中旬
花菖蒲まつり
（宮本町吾妻公園）

アジサイ（菱町普門寺）

あじさい街道（黒保根町下田沢）

アジサイ（新里町山上城跡公園）

7月 July

アジサイ（新里町山上城跡公園）

●中旬～下旬
山上多重塔供養祭（新里町山上）

8月 August

●第一金・土・日曜日
桐生八木節まつり（本町他）

●6・7日
太々神楽（川内町白瀧神社）

桐生八木節まつり

●15日
新里まつり（新里総合グラウンド）

●15・16日
くろほね夏まつり（黒保根運動公園）

●17日
百万遍念仏（梅田町皆沢）

くろほね夏まつり

●下旬
ぶどう展示会（織姫町市民文化会館）
城子供相撲（黒保根町宿廻）

ぶどう展示会

9月 September

ささら舞

●下旬
前田原獅子舞（黒保根町下田沢）
涌丸ささら舞（黒保根町医光寺）

10月 October

●上旬
にいさと薪能（山上城跡公園）

にいさと薪能

●下旬
スケート場オープン（桐生スケートセンター）

11月 November

●上旬
着道楽in桐生（本町周辺）
ファッションウィーク（市内各所）
菊まつり（稲荷町新川公園）

菊まつり

●19・20日
えびす講
（宮本町西宮神社）

紅葉 桐生川源流林（梅田町）

●下旬
紅葉狩ウィーク
（広沢町彦部家住宅）
桐生駅イルミネーション

紅葉 山上城跡公園（新里町）

紅葉 古路瀬渓谷（黒保根町）

12月 December

桐生駅イルミネーション

桐生川源流林紅葉

花紅葉歳時記

イベント&花ごよみ

桐生のイベント

毎年8月の第一金曜日からの3日間

桐生八木節まつり

本町エリア

桐生八木節まつりは、歴史ある「桐生祇園祭」と郷土芸能「八木節」を中心とした伝統あるまつり。市内各所にやぐらが設置され、何重にも踊りの輪が広がり、熱気と興奮に包まれます。見るもよし、一緒に踊るもよし。現地でこのまつりを体感すれば、必ず八木節の虜になります。この感動は桐生八木節まつりでしか味わえません。

会　場　桐生市内各所、本町通り、末広通り、錦町通り

アクセス
・電車の場合　●ＪＲ桐生駅から徒歩すぐ　●東武鉄道新桐生駅からバス約３分
●上毛電気鉄道西桐生駅から徒歩１分
・車の場合　●北関東自動車道太田桐生ICより約20分
●北関東自動車道太田藪塚ICより約20分

問い合わせ先
・事前の問い合わせ　桐生市役所観光交流課・・・電話0277-46-1111（内線566）
桐生商工会議所・・・・・・・・・電話0277-45-1201
・まつり期間中　桐生八木節まつり協賛会事務局・・・電話0277-43-6908

桐生三大市

毎月第一土曜日に、桐生市内で3つの市が開かれます。

本町エリア

天満宮古民具骨董市（てんまんぐう こみんぐこっとういち）

毎月第1土曜日　桐生天満宮
（1・8・11月は要確認）

桐生天満宮境内で骨董市を開催。80店舗ほどのお店が境内所狭しと立ち並び、多くのお客がお目当ての品を探して交渉する姿が見られます。関東の三大骨董市とも称され、品ぞろえは着物・陶器・古本などかなり幅広い。

買場紗綾市（かいばさやいち）

毎月第1土曜日　本町一丁目
買場通り

桐生新町の時代に、天満宮で開催されていた織物製品の取り引きや日常生活用品の商いを行っていた紗綾市を、現代に復活。食べ物・民工芸品などが、歩行者天国となっている買場通りの両側に立ち並びます。

桐生楽市（きりゅうらくいち）（旧 楽市座）

毎月第1土曜日　本町三丁目
本町通り沿い

いわゆるフリーマーケット。本町通り沿いにめいめいのお店がずらっと軒を連ねてお店を開き、歩くのも困難なほどのにぎわいを見せます。

本町エリア

日限地蔵縁日（ひぎりじぞうえんにち）

毎月24日　東2-13-18　観音院

毎月24日という日に限り、願い事をするとなんでも叶うという言い伝えのある地蔵尊の縁日。多くの露店が立ち並び、首都圏からたくさんの観光客が訪れます。

桐生のイベント

四季が織りなす、色とりどりの風物詩

えびす講

毎年11月19日・20日

西宮神社の例祭として知られるえびす講。11月19日が「宵祭り」、20日が「本祭り」。商売繁盛を願う多くの参詣客が関東一円からおよそ20万人が訪れ、賑わいます。神社への参道と周辺の道路には、きらびやかなオタカラやクマデ、食べ物などを売る露店が数多く立ち並び、参道は歩くのも困難なほどの人出です。

新里まつり

毎年8月15日

15日花火　16日花火　連日花火大会！

新里エリア

新里の夏を彩るメーンイベント。恒例の八木節や有名芸能人のライブをお楽しみいただけます。フィナーレを飾る花火もお楽しみに！

くろほね夏まつり

毎年8月15日・16日

黒保根エリア

水沼駅近くの黒保根運動公園で二日間にわたって行われるくろほね夏まつり。

大人気のマスのつかみ取りや八木節競演大会が行われ、なかでも至近距離で打ち上げられる花火大会は大迫力です！

桐生ファッションウィーク

10月下旬〜11月上旬

本町エリア

“このまち浪漫”をテーマに行われる、桐生の秋を代表する催しです。およそ一週間の期間中は市内各所で様々なイベントが開催され、その内容もファッション、織物、アート、歴史、食など様々。2006年から行われているクラシックカーフェスティバルは国内外の名車が一堂に会し、全国から車好きが集まります。

着物で
まち歩き！

桐生で着物着付体験

桐生おりひめ倶楽部
喫茶「大風呂敷」　桐生市本町2丁目

090-4000-5543
（桐生おりひめ倶楽部 山本）

開【受付】9:00〜12:00
閉【返却時間】16:00まで
交【車】北関東自動車道太田桐生ICから約20分
【電車】JR桐生駅かた徒歩約15分

織物のまち桐生を歩くんですから、装いは着物で決まりです。

織物のまち桐生で、着物を愛し楽しむ団体「桐生おりひめ倶楽部」は、毎月第一土曜日に、とってもお得な着付けメニューをご用意しています。

そのお値段は、着物のレンタルと着装がセットでたったの３,０００円！

織物の産地“ならでは”の、高クオリティ低コストの極上サービスです。この、着物着付け体験は、外国人観光客にも大変好評で、先日も、観光交流課に台湾の旅行社から問い合わせがくるほどです。東京からたった、一時間半。織物のまちで産業観光を楽しみ、着物を身に着け、レトロな雰囲気の街並みを散策し、異空間のタイムスリップが楽しめます。

おすすめコース

「世界遺産&桐生」
世界遺産に登録されている富岡製糸場と日光東照宮。2つの世界遺産を楽しみつつ、桐生の観光を堪能するゴールデンコース。

1日目

START
上信越道富岡ＩＣ または 上信電鉄**上州富岡駅**
・ＩＣから約3km ・駅から富岡製糸場まで約1km
→ 車約10分 → **富岡製糸場** → 車約10分 → 上信越道富岡ＩＣ → 下段へ

→ 車約30分 → 北関東道太田藪塚ＩＣ → 車約20分 → **桐生観光**
・ガイド付きまちあるき ・日本遺産めぐり（P19・20）
・ひもかわ・ソースカツ丼（P21・22）
→ 車約35分 → **梨木温泉** 宿泊（P29）

粉から桐生産の
おいしいお蕎麦が食べられる！

2日目

梨木温泉 宿泊（P29）
→ 車約10分 → **道の駅くろほねやまびこ**
→ 車約60分 → **日光** 日光東照宮等
→ 車約15分 → GOAL 上信越道富岡ＩＣ または 上信電鉄**上州富岡駅**

およそ15分で完成！

着物でまち歩き！

レンタル＋着装	3,000円

（レンタルには、着物・帯・帯揚・帯締・下着・足袋・草履が含まれます。帯には桐生の帯を使用しています。）

着装のみ	1,000円

“織都桐生”案内人の会

観光ガイド「“織都桐生”案内人の会」が、お客様のニーズにあわせて、桐生のまちをご案内します。お客様一人当たりおよそ１００円と、とってもリーズナブル。多くのお客様に、大変ご好評をいただいております。“織都桐生”案内人の会のガイドの説明は、わかりやすく、お客様の空気を読んだ軽快な案内に定評があります。

お申し込み・お問い合せ　**桐生観光協会**
事務局：桐生市観光交流課内
0277-46-111 内線566
ご利用の1週間前までにご連絡ください。

料金表（原則として2時間のご案内です）

お客様人数	料金総額	超過料金（1時間毎）	ガイド人数
1人～5人以下	500円	250円	1人
6人～10人以下	1,000円	500円	1人
11人～15人以下	1,500円	750円	1人
16人～30人以下	3,000円	1,500円	2人
31人～45人以下	4,500円	2,250円	3人
46人～60人以下	6,000円	3,000円	4人
61人～75人以下	7,500円	3,750円	5人
76人～90人以下	9,000円	4,500円	6人
91人～105人以下	10,500円	5,250円	7人

おすすめコース

桐生の産業観光

「西の西陣 東の桐生」といわれる桐生。織物による繁栄の礎である織物関係の工場などを巡り、その技術や魅力を目の当たりに出来るコース。

START
北関東道太田桐生ＩＣ または ＪＲ桐生駅・東武鉄道 **新桐生駅**
・ＩＣから約13km ・桐生駅から約1.5km ・新桐生駅から約3km
→ 車約25分／徒歩約20分／レンタサイクル約15分 →
P20 **織物参考館“紫” ＋ 森秀織物**
→ 徒歩約2分 →
P20 **後藤織物** → 下段へ

世界的に有名なマフラーメーカー
→ 徒歩約6分 → **松井ニット技研**
→ 徒歩約5分 → **重伝建ガイド付きまちあるき ＋ 昼食ひもかわ・ソースカツ丼** → 下段へ

こだわりの着尺を作る老舗メーカー
→ 車約5分 → **泉織物**
→ 車約5分 → **土田産業**
染色・加工の工場。Tシャツなどの染め直しも体験できちゃう！
→ 車約25分／徒歩約20分／レンタサイクル約15分 →
GOAL
北関東道太田桐生ＩＣ または ＪＲ桐生駅・東武鉄道 **新桐生駅**

桐生市へのアクセスのご案内

※掲載の道路・路線図は略図です。

http://www.kiryu-walker.net/

交通のご案内

電車ご利用

東武鉄道	浅草・北千住・とうきょうスカイツリー駅から新桐生駅まで特急りょうもう号で約1時間40分
JR東日本	上野駅から桐生駅まで東北本線・高崎線・両毛線（小山駅または高崎駅経由）で約2時間30分 東京駅から桐生駅まで東北・上越・長野新幹線（小山駅または高崎駅経由）および両毛線で約1時間40分

お車ご利用

北関東自動車道
太田桐生ICより約20分・太田藪塚ICより約20分

東北自動車道
佐野藤岡ICより約1時間

バス・タクシー

- おりひめバス ☎0277(54)2420
- 沼田屋タクシー ☎0277(44)5242
- 桐生朝日タクシー ☎0277(54)2420
- 桐生合同タクシー ☎0277(46)3939
- 日本中央バス ☎027(287)4400（本社）

観光についてのお問い合わせは

- 桐生市役所（観光交流課） ☎0277(46)1111（代）内線366・566
- 桐生観光協会 ☎0277(40)1888（桐生観光物産館わたらせ内）
- 桐生市新里支所 ☎0277(74)2217
- 桐生市黒保根支所 ☎0277(96)2113

PRINTED WITH SOY INK
環境に優しい大豆油インキを使用しています

発行：桐生市・桐生観光協会　デザイン・制作：株式会社アズ　印刷：太陽印刷工業株式会社
平成28年6月改訂
100000